

# 川越市教育委員会第5回臨時会会議録

- 1 会議の場所 川越市役所本庁舎 7 A B会議室
- 2 開 会 令和6年8月2日 午前10時
- 3 閉 会 令和6年8月2日 午後3時40分
- 4 教育長並びに出席した委員 新保正俊、長谷川 均、飯島 希、岡本紘子
- 5 欠席委員 嶋野道弘
- 6 教育長の職務を行った者 教育長新保正俊
- 7 説明のため出席した者 教育総務部長佐藤喜幸、学校教育部長岡島一恵、教育総務部副部長兼教育総務課長佐藤利貞、学校教育部副部長兼学校管理課長西貝俊哉、学校教育部参事兼教育指導課長早川美彦、学校教育部参事兼教育センター所長嘉手川 満、中学校用教科用図書選定委員会委員（川越第一中学校校長吉田 基、芳野中学校校長黒須淳一、高階中学校校長須澤美和子、大東中学校校長長田茂樹、川越西中学校校長大澤由美子）

## 8 前回会議録の承認

令和5年度第11回定例会、第12回定例会、第13回定例会、第14回定例会、令和6年度第1回定例会、第2回定例会、第3回定例会及び第4回定例会会議録については、現在、調整中であり、次回会議において承認することになった。

## 9 議題及び議事の概要

日程第1議案第17号 令和7年度使用中学校用教科用図書を採択することについて  
参事兼教育指導課長

義務教育諸学校の教科用図書については、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づき、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書を採択する場合を除き、4年ごとに採択することとなっている。今回は令和7年度から使用する中学校用教科用図書の採択である。

また、本市は第9採択地で市単独採択であり、教科用図書採択については、川越市立小・中学校用教科用図書の採択に関する規則に基づき、16種目の中学校用教科用図書について教育委員会が審議し、採択しようとするものである。

ここで、今年度の採択までの概要について説明する。本年5月から本日まで、規則に定められた各機関が、見本本が送付された教科用図書について綿密な調査研究と慎重な協議検討を進めてきた。

教科書調査研究専門員会は、各教科の教科用図書について、公正中立な立場から真摯に調査研究を重ね、「教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告書」を作成し、中学校用教科用図書選定委員会に提出した。

教科用図書選定委員会は、本日までの間に3回の会議を開催し、「市町村の教育

委員会等が教科書を採択するに当たっての採択基準について」を基に川越市の観点を設定し、専門員会から提出された「教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告書」とともに、学校からの意見、保護者の意見を踏まえ、協議・検討を行い、「教育委員会に推薦すべき教科書の報告書」を教育委員会に提出した。なお、教科用図書選定委員会から、推薦教科書として報告されていない教科書についても、採択の対象であり、審議及び採択をお願いしたい。

教育長

審議及び採択の方法についてお諮りしたい。

中学校用教科用図書については、これまでに教科用図書選定委員会に提出するために、教科書調査研究専門員により、調査研究が行われた。教科用図書選定委員会は、「教科用図書調査研究専門員による調査研究の結果報告書」、学校・保護者等に関する資料などを基に、教科書見本について協議、検討を行ってきた。

これらの各報告書については、会議資料として、事前に各教育委員に届けられ、閲覧、研究されているが、慎重に審議していくこととする。

まず、審議の進め方については、16種目の教科用図書について、種目ごとに選定委員からの説明を求め、審議及び採択することとし、審議の順番は、国語、書写、社会「地理的分野」、社会「歴史的分野」、社会「公民的分野」、地図、数学、理科、音楽「一般」、音楽「器楽合奏」、美術、保健体育、技術・家庭「技術分野」、技術・家庭「家庭分野」、英語、道徳としてよろしいかお諮りしたい。

(全員異議なく同意)

教育長

次に、採択の方法についてお諮りしたい。

採択の方法については、無記名投票により、教育長及び教育委員3名の投票の結果、獲得票数が1番多かった教科用図書を採択することとし、結果を公表することとしてよろしいかお諮りしたい。

その際、獲得票数が同数となった場合は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第4項の規定に基づき、教育長の決するところにより採択することとしてよろしいか併せてお諮りしたい。

(全員異議なく同意)

教育長

国語について審議及び採択を行う。

選定委員

国語の教科用図書調査研究専門員会において、教科書目録に掲載された教科書4者、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書出版について、調査研究を行った。これらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、三省堂と光村図書出版の2者とした。

三省堂「現代の国語」では、話すこと・聞くことは各学年3つの教材で構成され、話し合いのこつによって、グループでの話し合いが進みやすくなるような工夫がされている。読むことの教材文に関連した内容を書くことの内容に反映させることで読むことと、書くことを接続し、読むことで学んだことを生かして多面的な思考ができるように工夫されている。学習の見通しがもてるように「学びの道しるべ」が教材ごとに設けられている。巻末の「読み方を学ぼう」で文章読解の方法を示すよう工夫されている。巻頭で思考の方法として、考えを深めるための方法が9種類示され、各領域の教材には、学習過程に即した思考の方法が示されている。一文紹介、ビブリオバトル、ブックトークが紹介され、社会生活とつながる読書活動が取り入れられている。各教材のQRコードから、学習の参考となる資料や動画を閲覧したり、家庭学習等で活用できる漢字や文法の教材を利用したりすることができるよう工夫されている。

光村図書出版「国語」では、話すこと・聞くことは1年7つ、2・3年6つの教材で構成され、3年間を通して系統的に学べるよう工夫されている。読むことと、書くことの学習を関連付けた単元が設定されている。学習の見通しがもてるように、教材ごとに「学びへの扉」を設けている。「学びのカギ」で、身に付ける資質・能力を焦点化し図解で示し、視覚的に捉えられるよう工夫されている。巻末に学びのカギの一覧を示し、領域を越えた学びのつながりにより、理解が深まるよう工夫されている。言葉について意識できるよう系統的に構成され、「言の葉ポケット」

「語彙ブック」「資料編」などで、言葉の味わいを捉えられるよう工夫されている。ポップ作りや読書会や読書記録、ブックトーク、ブックレビューなど、社会生活とつながる読書活動が取り入れられている。QRコードから、学習の参考となる資料を閲覧したり、家庭学習等で活用できる漢字練習や解答を書き込めるコンテンツを利用したりすることができるように工夫されている。

## 委員

推薦の2者について、生徒が主体的に学習に取り組むようにするために、どのような工夫が見られるか。

## 選定委員

三省堂では、各教材に「学びの道しるべ」が設定されており、目標から振り返りまで見通しをもって学習が進められるように工夫されている。また、読むことの教材の前後に配置されている、読み方を学ぼうでは、他の教材にも活用できる、文章の読み解き方を習得できるため、生徒が学ぶ意義や必要感をより感じられるように工夫されている。

光村図書では、各教材の学習の流れを示した「学びへの扉」が設定され、見通しをもって学習に取り組むことができるよう工夫されている。また、巻末の「文学的・説明的文章を読むために」や「豊かに表現するために」では、1年間で身に付け

た力がこれからの学習や日常生活に生かせることが確認できるため、学ぶ価値を感じられるように工夫されている。

## 委員

現代的な諸課題について推薦の2者はどのように扱っているか。

## 選定委員

三省堂では、現代社会を生きていくうえで生徒が直面するであろう課題やテーマについて考えることができるように工夫されている。具体的には、防災教育、金融教育、消費者教育、SDGs、キャリア教育、国際理解・異文化理解に関する教材が3年間の中で配置されている。

光村図書では、視野を広くもち、持続可能な社会の実現に向けて行動できる主体を育むために、「情報×SDGs」という教材が各学年に設定されている。SDGsの17の目標から興味をもったものについて調べる教材や災害時の情報収集や情報の読み取りについて考える教材、資源の分別に関する文章から必要な情報を読み取る教材が設定されている。

## 委員

読書活動の活性化に向け、各者どのような工夫が見られるか。

## 選定委員

東京書籍では、教科書全体で422冊の書籍が紹介されている。教材ごとの読書案内や読書への招待に加え、世界を広げる本や夏休みにおすすめの本など、各学年5箇所の紹介コーナーが設けられている。また、読書活動では、ポップ作りやビブリオバトルなどの生徒が興味をもって取り組める活動が設定され、本に手を伸ばすきっかけとなるよう工夫されている。

三省堂では、教科書全体で283冊の書籍が紹介されている。教材ごとの「私の本棚」や「私の読書体験」、「小さな図書館」などの紹介コーナーが設けられ、多様な切り口で読書へ誘うよう工夫されている。また、読書活動では、ビブリオバトル、ブックトークなどの多様な読書活動が設定され、読書に親しむ習慣を形成するよう工夫されている。

教育出版では、教科書全体で334冊の書籍が紹介されている。「読書への招待」や「広がる本の世界」などで、豊かな読書活動につながる作品や教材のテーマに関連する本が紹介されている。また、読書教材の「みちしるべ」では、本の帯作りやビブリオバトルなど、楽しみながら本に親しむことができる活動が設定されている。

光村図書では、教科書全体で447冊の書籍が紹介されている。教材末の「広がる読書」や読書教材内の「本の世界を広げよう」では、47都道府県の推薦図書リストなどを参考に選定された書籍が紹介されている。また、「読書を楽しむ」では、ポップ作りや読書会、ブックレビューなど、学年ごとに複数の読書活動が設定され、

新たな本との出会いを促したり、読書生活を豊かにするためのきっかけとなるよう工夫されている。

#### 委員

推薦の2者について、川越授業スタンダードの学習過程に合うような工夫がされているか。

#### 選定委員

三省堂では、どの領域においても、目標で、本教材で学ぶ内容や身に付ける資質・能力を意識することができるよう工夫されている。また、学習の流れが同じ構成で示されているため、どの教材でも見通しをもって学習を進めることができるよう構成されている。読むことの教材では、自分の考えを深めるにおいて、文章を読んで理解したことをもとに、自分の考えを広げたり、深めたりする言語活動が設定されている。学びを振り返るでは、視点は極力与えず、学んだことを振り返ることができるよう工夫されている。

光村図書では、学びへの扉の見通しをもつで、目標と学習活動を確認し、課題解決の見通しをもてるよう構成されている。学びへの扉では、学習の流れが示されているが、その中で学習のポイントとなる点が焦点化して示され、学びのカギとして次ページにまとめられている。生徒は、学びのカギで、その単元で身に付けるべき資質・能力を意識してから学習に取り組むことができるよう工夫されている。振り返るでは、視点に沿って学びを振り返ることができるよう工夫されている。

#### 教育長

川越市の生徒の課題解決という観点で見たときに、どのような特徴があるか。

#### 選定委員

昨年度の埼玉県学力・学習状況調査の結果では全学年において、領域では、読むことに課題が見られる。

この課題に対し、東京書籍では、読むことの教材のあとに必ずてびきが配置され、見通すで目標を確認し、3ステップで段階的に学習を深め、目標や言葉の力を意識しながら振り返り、定着を図れるように工夫されている。

三省堂では、文学的文章、説明的文章それぞれに、読み方を学ぼうが配置され、教材を通して読み方を学ぶことができるよう構成されている。学んだ読み方は他の教材や他教科、社会生活にも生かせるよう工夫されている。

教育出版では、読むことの教材のはじめに「学びナビ」が設定され、教材の読み方や読むときの観点、学習活動のポイントをつかんでから本文に入っていくため、学習内容を捉えやすくなるよう工夫されている。

光村図書では、文学的文章、説明的文章それぞれに学びのカギが設定され、その教材で育成を目指す資質・能力を身に付けるために、どのような視点で読めばよいかということについて学ぶことができるよう構成されている。また、身に付けた力

を生かして課題解決を図る言語活動が設定されており、自身の達成状況を確認して次の学びへつなげたり、身に付けた力の定着を図ったりすることができるよう工夫されている。

(教育長及び教育委員による投票)

教育長

開票の結果、三省堂「現代の国語」1票、光村図書出版「国語」3票、他は0票となり、国語は、光村図書出版「国語」を採択することとする。

教育長

書写について審議及び採択を行う。

選定委員

書写の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載された教科書4者、東京書籍、三省堂、教育出版、光村図書出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、教育出版と光村図書出版の2者とした。

教育出版「中学書写」では、学習過程を、学習の進め方として、目標、考えよう、生かそう、振り返ろう、学習や日常生活に生かそうで構成し、内容や手順を明確にすることで、見通しをもち主体的に学習に取り組めるように工夫されている。各教材において、試し書き、考えよう、生かそう、まとめ書きなど随所に書き込み欄が設けられており、教科書に直接書くことを通して、自分の課題に気づき、話し合い活動などに取り組み、振り返ることで、書く力を身に付けられるように工夫されている。毛筆教材では、試し書きで硬筆、考えようで毛筆の課題を発見・確認し、毛筆と硬筆を関連させて学習することができるよう工夫されている。「まなびリンク」でQRコードが設定され、デジタルコンテンツ等の資料を効率よく活用できるように工夫されている。コラムのページでは、文字に関する資料が掲載されており、文字の変遷や楷書・行書の違い、文字の歴史・種類等が示されている。

光村図書出版「中学書写」では、学習過程を、学習の進め方として、考えよう、確かめよう、生かそうで構成し、ポイントが「学びのカギ」で示され、内容や手順を明確にすることで、見通しをもち主体的に学習に取り組めるように工夫されている。各教材において、考えようで、文字の特徴や書き方のポイントを考えたり話し合ったりし、生かそうで、場面や目的に応じた効果的な文字の選択について演習することで、実生活に生かすような工夫がされている。国語教科書と連動した教材を全学年で掲載し、連携するよう工夫されている。別冊「書写ブック」では、毛筆の教材文字と同じ要素をもつ硬筆課題が設定され、毛筆と硬筆の関連が図られるよう工夫されている。アニメーション、動画、参考作例などが記載されたQRコードを読み取ることで、動画や参考資料を活用できるように工夫されている。巻末に設けられた「書き初めマスターブック」では、伝統的な文化である書き初めの由来や文

字文化の豊かさに触れる教材が示されている。

#### 委員

調査研究委員会の資料によると、各発行者共、様々な学習過程が見られるが、川越市の子ども達の実態を踏まえると、どの教科書の学習の進め方がよいと考えているか。

#### 選定委員

毎週1時間の授業時数の中で扱っていかねなければならない教科であると考えたとシンプルな学習過程がよいと考える。その点において、教育出版と光村図書は学習過程が明確に示されているので、効果的な学習が期待できる。

#### 委員

デジタルコンテンツについて、どのような工夫がされているか。また、今は、どの会社の教科書を使っているのか。

#### 選定委員

デジタルコンテンツについては、どの者も工夫しており、生活の中で書写の力を生かせるように構成されている。

特に、教育出版と光村図書において特徴が見られる。

教育出版では、動画コンテンツとして、授業展開を示すショート動画を用意し、授業の流れや他教科の学習や日常生活に生かす過程を理解しやすい工夫がされている。タブレット端末を使う際の活用方法や教材文字と自分の文字を比較ツールで見ることができる点が工夫されている。

光村図書では、タブレット端末を使う際の姿勢や整理体操を掲載し健康面への影響に配慮している。QRコードから、タブレット端末を使うときの注意点や学校で使う日本語の動画を閲覧できるようにして、安全に学習できるように配慮されている。

2点目の質問について、現在は、光村図書の教科書を使っている。

#### 委員

書写の学習においては、書く力を身に付けることが基本だと思うが、推薦の2者は、どのような工夫がされているか。

#### 選定委員

教育出版では、よい姿勢・筆記用語の持ち方、行書の基本的な書き方を確実に習得させるための指導を行えるように工夫されている。肘を上げることで腕を机につけず、宙に浮かせて書く、懸腕法を紹介するなど、生徒が長時間書いても疲れにくく、整った文字が書ける方法を紹介している。

光村図書では、硬筆・毛筆ともに、生徒の発達段階に即した字体で示し、楷書・行書ともに記載方法を一貫させている。別冊の硬筆練習帳書写ブックを設け、毛筆教材文字と同じ学習要素を持つ硬筆課題を豊富に設定し、毛筆での学習が硬筆に生

かせるように工夫している。

教育長

自分から学びたくなるような主体性をもてるようになることが大切だと思うが、どのような工夫がされているか。

選定委員

推薦の2者について、教育出版では、生徒自身が教科書を見れば学び方が分かるよう構成を工夫している。学習過程が明確で、具体的には、考えようで原理・原則の発見を、確かめようで書いて確認を、生かそうで日常に生かす・振り返りという流れを導入し、見通しをもって学習に取り組めるようにすることで、主体性をもてるように工夫されている。教材冒頭で文字の原理・原則を考え、話し合う活動を設定し、対話を通して主体性や思考力、判断力、表現力を養う構成となるように工夫されている。

光村図書では、「学びのカギ」を設け、基礎・基本、原理・原則を明確に示し、生徒が見通しをもって学習に取り組むことができるように工夫している。教材は、考えようで原理・原則の発見を、確かめようで書いて確認を、生かそうで日常に生かす・振り返りという展開をひと目で分かるように工夫されている。また、学習の進め方を写真でわかりやすく示し、どう学ぶかをイメージできるよう工夫されており、主体的な学びにつながるように工夫されている。

推薦以外の2者について、東京書籍では、誰にとっても学びやすい教科書とするために、左利き生徒への配慮や特別支援教育への配慮などの工夫がされている。

三省堂では、小学校の既習事項の復習や高等学校書道の発展的な内容を紹介し、幅広い興味をもたせられる工夫がされている。

(教育長及び教育委員による投票)

教育長

開票の結果、教育出版「中学書写」4票、他は0票となり、書写は、教育出版「中学書写」を採択することとする。

教育長

社会「地理的分野」について審議及び採択を行う。

選定委員

社会「地理的分野」教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載された教科書4者、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、東京書籍と帝国書院の2者とした。

東京書籍「新編新しい社会地理」では、見開きで1単位時間の構成とし、導入資料、学習課題、本文、チェック&トライの流れで、問いを軸に構造化されている。各章の冒頭で、小学校の社会で習ったことばを示し、小学校での学習とのつながり

が円滑になるよう工夫されている。スキル・アップを設け、資料の読み取りなどの地理学習における基礎的・基本的な技能を系統的に身に付けさせることができるように工夫されている。各単元の導入部で単元全体を貫く探究課題を立て、単元末のまとめの活動で、思考ツールを用いて考えを整理し、学習内容を自分の言葉でまとめることで、課題解決的な学習ができるように工夫されている。QRコードが設けられ、動画やクイズが取り入れられており、学習効果が高まるように工夫されている。また、巻頭見開きで、持続可能な社会の実現に向けてについて、紹介するなどして、現代的な諸課題を意識・理解しながら、学習を進められるように工夫されている。

帝国書院「社会科中学生の地理世界の姿と日本の国土」では、見開きで1単位時間の構成とし、各章および各節の冒頭で問いを示し、導入、学習課題、本文、確認しよう、説明しようという流れで、問いを軸に構造化されている。各ページの欄外に、小学校との関連を示し、小学校とのつながりが円滑になるように工夫されている。技能をみがくでは、地理的な見方・考え方を働かせるうえで必要な、資料の読み取りやグラフの作成等の基礎的な技能が習得できるように工夫されている。各章・節末の「学習を振り返ろう」では、学習で得た知識を生かして、単元を貫く問いに対して思考ツールを用いて、自分の考えを整理・構造化できるよう工夫されている。QRコードが設けられ、学習内容の習得や調べ学習を支援するコンテンツで生徒の学びを支援するように工夫されている。コラム「未来に向けて」では、持続可能な社会を実現させるための人々の取組が掲載されており、社会に対し生徒自身がどのように参画していくかを発展的に考えられるように工夫されている。

## 委員

ふるさと学習について、各者どのように活用できるか。また、埼玉県や川越市に関する記載があるか。

## 選定委員

全者とも、終章「地域の在り方」で自分の地域について多面的・多角的に考察する学習がある。東京書籍と日本文教出版は地域の課題を捉え、教育出版は地域の課題、帝国書院は、地域の疑問を調査する箇所がある。

東京書籍は地域の将来像を考えるのに対し、教育出版や帝国書院は地域の課題に対する解決方法について考え、日本文教出版は生徒自身ができることを考える活動となっている。

2点目の質問について、東京書籍、教育出版、帝国書院には、埼玉県に関する記述がある。東京書籍には、5箇所、教育出版は3箇所、帝国書院は4箇所である。

川越市に関する記述があるのは、帝国書院のみで、川越の町並みのイラストが掲載されている。

## 委員

防災について、各者どのように扱っているか。

#### 選定委員

全者、防災や減災については取り扱っている。取り扱いが最も多いのは、帝国書院で11箇所だった。東京書籍、教育出版は、地域調査の手法の単元において、防災をテーマに調査している例で示している。帝国書院については、日本の諸地域の学習で、全ての地域の単元で防災の取組をコラムで紹介し、さらにアクティブ地理で避難所設営のシミュレーションを扱っている。

#### 委員

川越市では、川越授業スタンダードの活用を進めているが、川越市の子どもたちにとってより学びやすい発行者はどこか。

#### 選定委員

川越授業スタンダードは、めあて、見通し、対話・協働、まとめ、振り返りの流れで構成されている。全者とも、同様の流れで授業を構成することができる。

めあて、対話・協働、まとめについては、全者とも対話的な学習活動を取り入れたり、思考ツールを用いてまとめたりする等、様々な学習活動を工夫し掲載している。特に、対話・協働では、東京書籍や帝国書院が対話的な学習活動を多く設けたり、他者と協力し合って行う学習活動が多く設定されている。また、まとめについて、東京書籍では見方・考え方を働かせて探究課題に答えようという学習活動があり、単元の学習内容をまとめる際に必ず、地理的な見方・考え方を働かせ、より深い学びとするまとめの活動が設定されている。

見通しと振り返りでは、東京書籍と日本文教出版で特徴が見られる。東京書籍と日本文教出版では、学習課題を設定した後、単元内の学習内容の見通しをもてるよう、単元導入でどのような学習をするのか、学習内容を示し、自然条件を基にして単元を貫く課題を設定できるような構成にしている。また、振り返りについて、同じく東京書籍では学習内容を他者と話し合って振り返る学習活動が特に日本の諸地域の単元で多く設定されており、自身の学びを振り返るとともに、より自分事として学びを深められるようにできる工夫がある。

#### 教育長

東京書籍と帝国書院の違いは、どのような点にあるか。

#### 選定委員

東京書籍と帝国書院の違いは3つある。

1点目は、小単元の導入部について、資料や写真を用いて、小単元の学習内容を概観できる点は同じだが、帝国書院ではそれらの資料を用いて単元を貫く課題を設定している。東京書籍はその後自然環境の時間を経た後、単元を貫く課題を設定している。東京書籍では、自然環境が入り、自然環境を基にして地理的事象を捉えられるように工夫されている。より生徒が主体的に単元を貫く課題を設定できるよ

うに工夫している点が見られる。

2点目は、単元末で、両社とも、単元末にはコラムがあり、発展的な学習に結び付けられる工夫が見られる。また、東京書籍には、見方・考え方を働かせて探究課題に応える学習活動が設定され、見方・考え方を働かせ、深い学びとなるように構成されている。一方、帝国書院では単元末に空間的相互依存作用の影響をまとめて反映しており、地理的事象同士の関連性を意識して深く学べるように工夫されている。

3点目は、身近な地域の課題を考え、解決にむけた取組等を考える、地域の在り方について、この単元について、東京書籍ではシンプルな資料を精選して用いることで、どの生徒も利用しやすいように工夫されている。また、調べ方、まとめ方も分かりやすく、誰でも参考にしやすい形となっている。帝国書院では、写真や資料に加え、自作のGISを使用し、様々な主題図を用いており、生徒が学習したい内容に応じて、選択できるように工夫されている。プレゼンテーション資料のまとめ方等も掲載されており、ICTを活用しながら単元の課題に迫ることができるような工夫が見られる。

(教育長及び教育委員による投票)

教育長

開票の結果、東京書籍「新編新しい社会地理」3票、帝国書院「社会科中学生の地理世界の姿と日本の国土」1票、他は0票となり、社会「地理的分野」は、東京書籍「新編新しい社会地理」を採択することとする。

教育長

社会「歴史的分野」について審議及び採択を行う。

選定委員

社会「歴史的分野」の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載された教科書9者、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版社、日本文教出版、自由社、育鵬社、学び舎、令和書籍について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、東京書籍と日本文教出版の2者とした。

東京書籍「新編新しい社会歴史」では、見開きで1単位時間とし、導入資料、学習課題が記され、「チェック&トライ」で学習した知識を活用し、身に付けた技能を「確かめよう」で活用できるよう構成されている。各時代の導入には、小学校の振り返りとグループでの協働的な活動が設けられており、単元全体を貫く探究課題を立てることで、学習に見通しをもたせるように工夫されている。1単位のまとめ「チェック&トライ」では、学習内容の説明や要約できるような設問が用意されており、自分の言葉で表現できるよう工夫されている。また、章末「まとめの活動」では、思考ツールを活用し「探究のステップ」で節の問いを解決する活動が設けら

れ、「深めよう」で単元全体を貫く探究課題の解決へとつなげられるように構成され、思考力、判断力、表現力等を育成するために工夫されている。「みんなでチャレンジ」では、個人とグループ活動の相互作用で学びを深めるよう工夫されている。ICT機器を活用して利用できるQRコンテンツが設けられ、動画や画像が取り入れられており、学習効果が高まるよう工夫されている。

日本文教出版「中学社会歴史的分野」では、見開きで1単位時間とし、導入資料、学習課題が記され、学習課題の手がかりや学習内容を理解するための問いが示され見通しをもつことができるよう構成されている。各章の冒頭の年表には、小学校で学んだ人物などが掲載され、年表と世界地図で時代を概観し、単元を貫く問いを明示することで、学習の見通しをもてるように工夫されている。1単位時間のまとめとして自分の考えを説明する、表現を行うことで、学習内容を理解できるよう工夫されている。各章の「まとめと振り返り」で単元を貫く問いに対して、思考ツールを活用して、自分の考えをまとめるように工夫されている。「チャレンジ歴史」では、習得した知識を生かし、考えをまとめ、他者と話し合う場面が設定され、思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がされている。歴史の学習の最後には、課題の解決に向けて歴史を踏まえて未来を考える学習活動が用意されている。ICT機器を活用して利用できるQRコンテンツが設けられ、動画や確認小テストが取り入れられており、学習効果が高まるよう工夫されている。

## 委員

小学校社会科との接続、地理的分野、公民的分野各分野との関連付けについて、各教科書で、どのような工夫が見られるか。

## 選定委員

東京書籍では、第1章の扉で人物キャラクター年表によって小学校の振り返りを視覚的に行うとともに、1節では、小学校社会科で学習した言葉、人物・文化財・できごとを振り返るページを設ける工夫を行っている。また、各単元の導入では、小学校社会科で学習した言葉を記載するとともに、小学校で学習した人物キャラクター年表によって、時代を見通すことができるように工夫がされている。さらに、小学校で学んだ学習を確認しながら、時代全体を見通すことができる導入クリップの動画やクイズ形式の「だれだろう？歴史人物」などのQRコンテンツによって、小学校との接続が図れるよう工夫されている。

日本文教出版では、第1章の扉で、印象に残っている人物キャラクターや文化財、事柄の発表を行うことによって、小学校の振り返りを視覚的・対話的に行うとともに、第1節では、小学校の歴史学習を振り返る活動が行えるように工夫されている。また、各章の導入には、小学校で学んだ主な人物などの年表が写真資料とともに設けられ、脚注の連携コーナーにおいて、小学校で学んだ人物を再確認できるようにし、既習事項を踏まえてスムーズに歴史学習に移行できるように工夫されている。

各分野との関連付けについて、東京書籍では、他分野との学習と関連が深い内容には、関連マークが付けられている。また、巻末の歴史のまとめ「歴史に学び、未来へと生かそう」では、持続可能な社会について考えさせることで、公民とのつながりを意識させる工夫がされている。

日本文教出版では、脚注の連携コーナーにおいて、地理や公民の学習に関連する事項を確認・活用することができる工夫がされている。また、公民との関連では、歴史との対話を未来に活かすで、公民的分野の学習につながるように工夫されている。

#### 委員

現代の諸課題について、どのように扱っているか。

#### 選定委員

7者、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版社、日本文教出版、育鵬社、令和書籍は持続可能な社会や持続可能な開発目標SDGsに触れ、そのうち5者、東京書籍、教育出版、帝国書院、山川出版社、日本文教出版は、特設ページや巻末で課題解決に向けて考える工夫がされている。

#### 委員

ICTを活用した学習についてどのように扱っているか。

#### 選定委員

東京書籍では、教科書からアクセスできるQRコードが135掲載され、QRコンテンツを382用意している。学習課題の横にコンテンツ内容とともに掲載され、導入、展開、まとめの学習段階に応じたコンテンツが用意されている。導入では、小学校で学んだ知識を確認しながら、時代全体を見通すことができる導入クリップや小学校で学習した人物をクイズ形式で知識を習得できる「クイズだれだろう？歴史人物」などがある。展開では、教科書に掲載された資料を拡大して読み取り活用につなげるD-ZOOMやD-MOVEなどの授業中の活用できる75の動画、まとめでは、活動内容に沿ったワークシートや語句の意味を確認できる「語句の意味を調べよう！」、思考の整理に役立つ思考ツールなどが用意されている。

日本文教出版では、QRコードが146掲載され、437のコンテンツが用意され、学習課題の横にQRコードが掲載されている。動画や思考ツールのほか、教科書全体を通してポートフォリオ、イントロダクションムービー、確認小テストを系統的に用意している。ポートフォリオは、学習履歴を支援するもの、イントロダクションムービーは、前の節で学習したことを確認したり、節の問いを解決するための学習の見通しをもつためのもの、確認小テストは、重要語句について4択問題で確認できるコンテンツとなっており、内容のまとまりでの学習を支援したり、個別最適な学びを実現したりするための工夫がされている。

#### 教育長

歴史的な見方・考え方を働かせるための工夫について、どのような工夫が見られるか。

#### 選定委員

東京書籍では、巻頭において6ページ使って、歴史を捉える見方・考え方として、時代や年代、推移、比較、相互の関連、現在とのつながりについて説明されている。本文においては、見方・考え方を働かせる視点を明確にして学習できるよう、鉛筆マークの小学校の社会科や「スキルアップ」などで身に付けた技能を活用して活動するコーナーや「みんなでチャレンジ」のコーナーの中で、場所や比較などの言葉とともに虫眼鏡マークが付く工夫がされている。章末のまとめにおいても、見方・考え方を働かせて、個人やグループで活動できるように工夫されている。

日本文教出版では、巻頭において4ページ使って、歴史の捉え方として、年代・時代区分の表し方、歴史的な見方・考え方として、時系列・推移・比較・つながりの4つについて説明がされている。本文においては、学習課題の下に見方・考え方が比較や推移などの言葉とともに提示され、課題解決の手がかりとなるように工夫されている。章末においても、見方・考え方を働かせて、考えることができるように工夫されている。

(教育長及び教育委員による投票)

#### 教育長

開票の結果、東京書籍「新編新しい社会歴史」4票、他は0票となり、社会「歴史的分野」は、東京書籍「新編新しい社会歴史」を採択することとする。

#### 教育長

社会「公民的分野」について審議及び採択を行う。

#### 選定委員

社会「公民的分野」の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載された教科書6者、東京書籍、教育出版、帝国書院、日本文教出版、自由社、育鵬社について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、東京書籍と帝国書院の2者とした。

東京書籍「新編新しい社会公民」では、各章の冒頭に導入の活動が示され、章ごとに設定される社会との関わり方を考える探究課題により、個人と社会との関わりを中心に学習を深めるように工夫されている。見開きで1単位時間が構成され、学習課題、本文、資料、「チェック&トライ」等、1時間の学習の見通しがもてるように工夫されており、自身の考えを整理し表現できる構成となっている。思考ツール等で考えを整理し、探究課題解決につなげる「深めよう」や、小集団での協働的な活動を行う「みんなでチャレンジ」が設定され、思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がされている。章末の「まとめの活動」では、思考ツールを使うことで学習内容を整理し、自身の考えを表現することで、学習効果が高まるように

工夫されている。QRコードやURLのリンクから、動画やシミュレーション等のコンテンツを活用できるよう工夫されている。各地の取組を紹介する「未来にアクセス」を設け、現代的な諸課題を明示した5つの視点から考察することで、持続可能な社会の形成を意識できるように工夫されている。

帝国書院「社会科中学生の公民よりよい社会を目指して」では、各章の導入では「学習の前に」で学習内容を概観する導入や視点がイラストを使って示されており、学習意欲を喚起させ、章全体の見通しをもてるように工夫されている。見開きで1単位時間とし、各学習時間のまとめとして「確認しよう」「説明しよう」が設けられており、章・節の問いを受けた学習課題に対して、自身の考えを整理できる構成となっている。単元を貫く問いを、思考ツールを活用して考察する「学習を振り返ろう」が設定されており、思考力、判断力、表現力等を育成する工夫がされている。章末の「学習を振り返ろう」では、振り返りの問題の解答を確認して知識の定着を図るとともに、章の問いについて協働的に学習に取り組み、自分の考えを整理・構造化できるように工夫されている。QRコードから、動画や振り返りの問題等のコンテンツを活用できるように工夫されている。アクティブ公民では、社会参画を疑似体験できるシミュレーション学習が設定され、学習内容を深めるための公民プラスやSDGsへの意識を高める「未来に向けて」などが設定されている。

#### 委員

主権者教育に関する工夫について、また、消費者教育や租税教育の取り扱いについて、各者どのようになっているか。

#### 選定委員

主権者教育について、東京書籍では、18歳へのステップ、帝国書院では、18歳への準備が設けられており、有権者となる18歳までの3年間で様々な社会問題を考える学習活動が入っており、社会参画意識を高める工夫が見られる。

消費者教育について、東京書籍、帝国書院ともに、契約について考える学習活動が見開きで掲載されており、消費者としての意識を高める工夫がされている。

租税教育について、東京書籍、帝国書院ともに、社会保障費と税負担から社会について考察する学習活動や所得税、特に累進課税制度の公正さについて考える学習活動がある。帝国書院では、赤字路線のバスをどうするか考える学習活動が見開きで設けられており、金融教育につながるローンなどの契約についても考える活動もある。

帝国書院が、消費者教育、租税教育とも、見開きで生徒が多面的・多角的に考察する学習活動を設けている。

#### 委員

現代の諸地域を取り巻く動向や課題について、各者どのようになっているか。

#### 選定委員

全者とも、現代社会の問題を取り扱うコラム等を掲載し、学習内容を基にさらに深めさせる、発展的な学習活動が掲載されている。最も多いところは、日本文教出版で51箇所、育鵬社が42箇所だが、東京書籍、帝国書院、日本文教出版が30から40箇所、自由社が20箇所掲載されている。自由社以外の5者は新型コロナウイルス感染症やウクライナの問題についても、取り扱っている。

#### 委員

地理的分野や歴史的分野との関連について、どのように扱っているか。

#### 選定委員

東京書籍、帝国書院ともに、関連を示す箇所をアイコンで示したり、関連コーナーを設けたりし、接続を意識できるような工夫がされている。東京書籍では、3分野で共通する題材を取り上げている。

#### 教育長

1 単位時間当たりの授業の流れについては、どのようになっているか。

#### 選定委員

東京書籍、帝国書院では、学習した内容の知識部分を定着させるコーナー、学習課題に対して答えをまとめるコーナーが設けられている。帝国書院は、導入資料について、対話するコーナーが必ず設けられ、その対話を基に、学習課題を設定する構成となっている。

川越授業スタンダードで示している、めあて、見通し、学び合い、振り返りの流れについて、東京書籍、帝国書院ともに、教師側が意識せずとも、教科書内の各コーナーに沿って授業を行うと川越授業スタンダードの流れで授業を行えるように構成されている。

(教育長及び教育委員による投票)

#### 教育長

開票の結果、東京書籍「新編新しい社会公民」4票、他は0票となり、社会「公民的分野」は、東京書籍「新編新しい社会公民」を採択することとする。

#### 教育長

地図について審議及び採択を行う。

#### 選定委員

地図の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載された教科書2者、東京書籍、帝国書院について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、東京書籍と帝国書院の2者とした。

東京書籍「新編新しい社会地図」では、3種類の質の異なる問いを使い分けた「Be e's eye」を掲載することで、地図を読み取る際のポイントを示し、地図や資料を読み取り活用する力を身に付けさせるように工夫されている。地理的

分野をはじめ、歴史的分野や公民的分野と関連するページを位置付け、3年間の社会科の学習全体で活用できるように工夫されている。世界の各州、日本の各地方には、地域の概観に役立つ地形、降水量、人口、土地利用、産業などの主題図を掲載し、基本的な知識が習得できるように工夫されている。歴史的分野や公民的分野との関連した資料には、マークを付けて多面的・多角的に考察できるように工夫されている。QRコードには、世界の各州や日本の各地方に関連する地図や資料、地図の利用方法を解説する動画、図版の読み取り練習ができるデジタルコンテンツが用意されている。防災やSDGsに代表される現代社会の諸課題に関する資料やアイコンが掲載され、持続可能な社会の実現に向け、課題を追求・解決する活動が展開できるように工夫されている。

帝国書院「中学校社会科地図」では、様々なページに設けられた「地図で発見！」の問いを追究することで、地図を読み解く際の基本的な技能や、地図を活用する力が身に付けられるように工夫されている。歴史アイコンや公民アイコンが設けられ、歴史的分野や公民的分野と関連付けて学習できるよう工夫されている。世界の各州全てに掲載された鳥瞰図は、自然環境や生活・文化、産業などの特色がイラストで示され、地図帳を主体的に活用できるように工夫されている。世界の各州、日本の各地方には、降水量、人口、土地利用や、産業を中心に特色を捉えられる様々な主題図を掲載し、基本的な知識が習得できるように工夫されている。自然や人口などの資料図の縮尺を統一することで、比較を通して地域の特色が考察できるように工夫されている。QRコードには、学習内容の習得や、調べ学習のために、小学校の振り返り、地図の基礎・基本、世界の地図・資料等が掲載されている。防災や環境に関する地図や資料やマーク、SDGsに関する資料やアイコンが掲載され、課題を追求・解決する活動が展開できるように工夫されている。

## 委員

推薦の2者の違いと、地図帳を活用しやすくするためにどのような工夫があるか。  
選定委員

2者の違いについて、大きな違いはページ数にあり、東京書籍は176ページ、帝国書院は198ページとなっている。世界の生活・文化については、東京書籍が3ページ、帝国書院が4ページとなっている。また、日本の自然災害・防災については、東京書籍が2ページ、帝国書院が4ページとなっている。

また、写真をはじめ資料数と図についても大きな違いが見られ、帝国書院がどれも数が多くなっている。

各社の特徴について、2者ともに、ユニバーサルデザインフォントを使用している。

東京書籍では、文字に縁取りをしたり、グラフでは線種で見分けがつくようにしたりすることで、情報を読み取りやすくする工夫がされているのに対して、帝国書

院では、4色印刷に黄緑色のインキを加えた5色刷りで印刷し、地名には白色系の縁取りをつけて読みやすくする工夫がされている。土地利用表現の色の下に地紋の模様が入っており、色の違いを判別しやすくなるように工夫されている。また、陸高の違いを読み取りやすいように、うす緑色で等高線が加えられている。

等高線については、2者とも色分けしているが、分け方が異なる。

東京書籍では、陸の高さは2～7段階、海の深さは1～7段階で色分けし、大都市周辺の地図では土地利用の様子が21段階で表現されているのに対して、帝国書院では、陸の高さは7段階、海の深さは3～7段階で色分けし、大都市周辺の地図では、土地利用の様子が15段階で表現されている。

## 委員

資料の数と統計資料についての違いはあるか。

### 選定委員

ページ数や資料の数、写真や図、日本の諸地域の考察に関する資料数についても帝国書院のほうが上回っている。

東京書籍は、176ページ、写真数が90、図が67で、日本の諸地域の考察に関する資料数が23であるのに対して、帝国書院は、198ページ、写真数が217、図が83で、日本の諸地域の考察に関する資料数が53となっている。

日本の統計資料について、東京書籍は2ページ掲載され、人口構成割合や人口増加率、鉄鋼資源の項目があるのに対して、帝国書院は3ページ掲載され、1ページに日本の市と人口について掲載している。項目数は、帝国書院のほうが上回っている。

世界の統計資料について、東京書籍は3ページ、帝国書院は4ページ取り扱っている。

東京書籍で掲載されている項目は、主な言語や宗教や輸出入の貿易額などが掲載されている。

帝国書院には、世界の主な都市の人口や食料品の生産、持続可能な社会を考える統計が掲載されている。

## 教育長

各発行者のよさはどのような点にあるか。

### 選定委員

東京書籍では、紙面がA4判に拡大されたため、広い範囲が見やすくなっている。地図帳を活用する問い「B e e ' s e y e」が見開きに1問以上を掲載し、主体的に地図を活用する力を養えるよう工夫されている。

帝国書院では、日本や世界各州の鳥瞰図を設置し、地域を大観させるとともに、親しみやすいようにイラストを掲載している。主体的に地図に取り組む問い「地図で発見！」を103箇所、全156問掲載し、社会的な見方・考え方を働かせて問

いを追究できるように工夫されている。SDGsの特設ページ「地図で考える持続可能な社会」を7ページ掲載し、SDGsについて考察できるページや資料の横には、SDGsアイコンが48箇所ついている。

(教育長及び教育委員による投票)

教育長

開票の結果、東京書籍「新編新しい社会地図」1票、帝国書院「中学校社会科地図」3票、他は0票となり、地図は、帝国書院「中学校社会科地図」を採択することとする。

教育長

数学について審議及び採択を行う。

選定委員

数学の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載された教科書7者、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、新興出版社啓林館、数研出版、日本文教出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、東京書籍と大日本図書の2者とした。

東京書籍「新編新しい数学」は、「大切にしたい数学の学び方」では、問題をつかむ、見通しをたてる、問題を解決する、ふり返る、深めるといった問題解決的な学習の流れが示されている。学習意欲を高めるために、身の回りの生活問題を解決する活動から学習につながる導入課題が各節の最初に設定されている。章の学習では、例題と似た問題に「♡」マークを付け、典型的な誤答を「×まちがい例」、既習事項の確認を「ちょっと確認」と示し、知識及び技能が習得されるように工夫されている。章末の「深い学び」では、問題を解決するための過程とともに、大切にしたい数学的な見方・考え方が示されており、思考力、判断力、表現力等を身に付けるように工夫されている。紙面右下にあるQRコードを読み取ることで、動画やシミュレーションを用いて問題を解決したり、フラッシュカードで家庭学習に取り組んだりできるように工夫されている。「MATH CONNECT」「数学のまど」「数学×社会」では、日常生活や社会問題と数学のつながりが具体的に掲載されており、数学の有用性を意識できるように工夫されている。

大日本図書「数学の世界」は、「数学の世界へようこそ」では、問題を見いだそう、解決のしかたを探ろう、解決しよう、深めようといった問題発見・問題解決の流れ、数学的な見方・考え方が示されている。単元の導入では、新しい学習への興味・関心を引き出すように、身近な題材が扱われている。章の学習では、身に付けた学習内容を「プラス・ワン」で補充することができるように構成されており、巻末には、自主的に取り組める補充問題が設定され、知識及び技能が習得されるように工夫されている。活動では、既習事項を生かして、主体的に調べたり、考えたり

する活動が設けられており、数学的な表現力を伸ばすために工夫されている。デジタルコンテンツが使える内容にはWEBマークが付けられており、操作して学習できるコンテンツや資料などが掲載されている。「社会にリンク」や巻末「MATHFUL」では、仕事や日常生活で活用されている数学について掲載され、社会生活と数学とのつながりを意識して生徒が興味や関心をもてるように工夫されている。

## 委員

川越市の子どもの学力の課題を克服するための工夫が見られるのはどこか。

## 選定委員

まず初めに川越市の学力の課題について、令和5年度全国学力・学習状況調査中学3年生の結果をみると、ほぼすべての領域で全国・県正答率を下回っている。特に大きく下回っている領域については、数と式の計算領域である。

計算領域については、各者とも数と計算の領域においてページ数に大きな差はなく、問題数が充実している。各節ごとに、基本的な問題が用意されており、基礎・基本の定着の充実が図られており、東京書籍は、節末に基本の問題、大日本図書は、節末に「たしかめよう」、学校図書は、節末に「確かめよう」、教育出版は、節末に基本の問題、啓林館は、節末に練習問題、数研出版は、節末に確認問題、日本文教出版は節末に基本の問題が掲載されている。

また、各者とも全国学力・学習状況調査などで課題を分析し、問題などに取り扱っている。

東京書籍は、正答率の低い問題や特定の誤答が多い問題を分析し、考えを説明する場面を設定するなど、内容の取り扱いを丁寧に行っている。コンテンツでヒントと解答がある。

大日本図書は、CBTに対応した音声や映像から得られた情報をもとに考える、新しい形式の問題で、全学調にて導入が検討されているCBT形式のWEBプラスのWEBテストがある。

学校図書は、全学年「説明する力をつけよう」を設定している。

教育出版は、課題のある学習内容について、問などで扱っている。

啓林館は、理由を説明する問題、関数は全学年で「ステップ方式」で提案されている。

数研出版は、課題のある学習内容について、問などで扱っており、全学調の過去の問題や課題にリンクできるようにしている。

日本文教出版は、全学調を基に、「活用の問題」が掲載されている。

## 委員

1人で学習をすすめることになったときの配慮がなされているか。

## 選定委員

各者とも問題数が充実しており、章末や巻末に補充問題が用意されている。巻末

の補充問題を進めるうえで、間違えたときに教科書のどのページのどの問題まで戻って復習すればよいか、ほぼ全者で明記されている。

#### 委員

小学校から中学校への円滑な接続の視点について、どのような配慮が見られるか。

#### 選定委員

各者、関連する小学校での既習事項を振り返りながら第1学年の内容を進めていく構成になっている。さらに教育出版、数研出版、日本文教出版は章の初めに学習する前のレディネス問題が設定されており、また、東京書籍は0章で、学校図書は特定の章の前に算数から数学へのつながりに触れている。なお、各者とも巻末に小学校の例題または問題がある。

#### 教育長

学力向上の取組として川越授業スタンダードを推進しているが、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、推薦の2者について、どのような工夫がされているか。

#### 選定委員

各者とも特色を設けて扱っている。

思考の流れを示しているページがあるのが、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版である。

具体的には、東京書籍においては、1年生の教科書57ページのように、深い学びのページをほぼすべての章に設けてあり、問題をつかむ、見通しをたてる、問題を解決する、ふり返る、深めると問題解決の進め方を意識している。

大日本図書においては、1年生の教科書59ページのように、問題を見いだそう、解決のしかたを探ろう、解決しよう、深めようと問題発見・問題解決の流れを示している。

#### 教育長

目標・めあてとまとめの整合性のとれた教科書はどこか。

#### 選定委員

各者とも本時の学習のねらいが明確に示され、学習に見通しをもって取り組めるようになっている。さらに、ねらいが強調され、見やすくなっている。また、各者とも、大切な内容をまとめた部分を用意しており、ねらいとまとめの整合性がとれている。まとめと表記されているのは数研出版のみで、他者は色、枠、書体等で強調されている。

東京書籍は、目標・めあてについて、学習課題・マークで示唆されている。まとめについて、言葉での表記はないが、青枠で囲まれている。

大日本図書は、目標・めあてについて、めあてと表記されている。まとめについて、言葉での表記はないが、オレンジで囲まれている。

(教育長及び教育委員による投票)

## 教育長

開票の結果、東京書籍「新編新しい数学」3票、大日本図書「数学の世界」1票、他は0票となり、数学は、東京書籍「新編新しい数学」を採択することとする。

## 教育長

理科について審議及び採択を行う。

## 選定委員

理科の教科用図書調査研究専門員会において、教科書目録に掲載された教科書5者、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、新興出版社啓林館について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、東京書籍と教育出版の2者とした。

東京書籍「新編新しい科学」では、単元や章の導入に、学習の動機付けや疑問を促す動画がQRコードで用意されており、興味・関心をもたせたり、見通しを立てさせたりし、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。問題発見から課題を把握し、仮説や構想を立てながら観察・実験を行うことで探究し、課題を解決していく構成となっている。また、理科の見方・考え方に関する観点が適宜掲載され、生徒が主体的に探究することができるように工夫されている。1人1台端末の活用が効果的な場面や活用方法について、巻末でコンテンツを紹介したり、観察・実験の手段として取り入れたりするなどの工夫がある。デジタルコンテンツとして、動画やモデルシミュレーション、WebページやVR、他の教科との関連など、種類が豊富で活用しやすいように工夫されている。安全と安心への配慮として、理科室の決まりを掲載し、観察・実験のページには、注意事項をアイコンと説明文で記載し、巻末に主な薬品の性質ととりあつかいの注意が設けられている。

教育出版「自然の探究中学理科」では、単元や章の冒頭に写真資料を掲載し、これから学ぶ内容や既習事項を記載することで学びの意欲を高めるように工夫されている。また、「やってみよう」など科学的に探究するための手掛かりとなる活動を設定し、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。「話し合おう」「考えよう」など課題解決に向けた活動が適宜設定され、既習事項を基に、自分の言葉でまとめることができる場面が設定されている。また、単元ごとに具体的なレポートについて作成された「私のレポート」を例示することで、思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がされている。まなびリンクとしてWeb図鑑や既習事項の確認等のデジタルコンテンツが用意され、どのページも共通してページ番号の横にQRコードが掲載されている。安全と安心への配慮として、巻頭に、理科室のきまりと応急処置を掲載し、観察・実験のページには、禁止や注意等がマークと文で示され、巻末に、教科書に記載されている主な物質・試薬の一覧が設けられている。

## 委員

実験・観察における工夫と事故防止における工夫はどのようなものがあるか。

## 選定委員

実験・観察における工夫について、大きなマークやラインによる区切りなど、視覚的に実験の手順をわかりやすくする工夫、動画等による説明などが見られる。

東京書籍は、結果や考察の視点が示され、生徒が探究しやすいよう工夫されている。

大日本図書では、着目点、結果の整理等が明記され、見通しをもって観察・実験が進められるよう記載されている。

学校図書では、「理路整然」というコーナーで、なぜ、そのような方法をとるのかなどについて解説し、探究の過程が深まる工夫がされている。

教育出版は、單元ごとに具体的なレポートについて作成された「私のレポート」を例示し、実験・観察の結果をまとめる際の参考になるように工夫されている。

啓林館では、「考えてみよう」として、仮説、実験計画、予想を立てることを通して見通しをもって学習を進められるように工夫されている。

事故防止における工夫について、特に注意を要する事項について、視認しやすい専用のマークを設けたり、安全に実験を行うための理科室の使用法などの特設ページを設けたりしている。

東京書籍は、巻末に、主な薬品の性質ととりあつかいの注意を掲載し、取り扱いに注意が必要な薬品を一覧で示している。

大日本図書は、実験を行う心構えや注意事項をまとめた、理科室のきまりを1年生の巻頭、2・3年生の巻末に掲載している。

学校図書は、巻末に、薬品の取りあつかいや事故が起こった際の対応を掲載している。

教育出版では、各学年の巻頭に、理科室のきまりと応急処置を掲載し、安心・安全への意識付けについて工夫をしている。

啓林館は、事故が起こりやすい実験には安全を確認するステップを設けている。

## 委員

冊子の重さや大きさなどつくりにおける工夫はどのようなものがあるか。

## 選定委員

冊子を軽量化したり、大きさそのものに工夫を設けたりするなどが見られる。

東京書籍は、A B版であることで、ページの左側概ね3分の2が本文、右側3分の1が資料や注釈という配置となり、資料を参照しながら本文を読めるように工夫されている。

大日本図書の表紙は、丈夫で汚れにくいコーティングがされている。

学校図書は、総ページ数が削減され、軽くする配慮がなされている。

教育出版では、教科書の巻頭で探究方法について解説し、流れをいつでも参照できるように折り込みが設けられている。

啓林館の巻末の「探Qシート」は容易に切り取れる加工がなされ、切り取った後の保存用にパンチ穴の規準が設けられている。

#### 委員

川越市は防災教育に力を入れていると思うが、防災・減災教育における工夫はどのようなものがあるか。

#### 選定委員

各者、主に1年生の地震の学習に関する単元や2年生の気象の学習に関する単元などにコラムや特集を組み、防災、減災について考えるきっかけをつくっている。

東京書籍は、水害に関するVRコンテンツにQRコードから接続し疑似的に災害を体験することができるように工夫をしている。

大日本図書は、「安全」というマークを示し、事故や危険なこと、防災など、安全にかかわる物事を紹介している。

学校図書は、災害に関わる写真を掲載し具体的な事例を紹介している。

教育出版は、「話し合おう」というマークを添えて、どのような被害が出るか、どのような対応をするとよいか問う記述がある。

啓林館は「防災減災ラボ」というコーナーを設けて、地域防災に活動する方を紹介している。

#### 教育長

川越市は、川越市小・中学生学力向上プランに示された授業スタンダードに基づいた授業を推進していると思うが、推薦の2者について、授業スタンダードに沿った授業展開がしやすい工夫がなされているか。

#### 選定委員

東京書籍では、節の構成を探究の流れに沿って表現し、問題発見から最後の活用までをひとつながりの矢印で結合し、探究の過程を生徒が意識することができるように表現する工夫を行っている。

教育出版では、教科書の巻頭で探究の流れや方法が示され、流れや方法をいつでも参照できるように折り込みが設けられている。

(教育長及び教育委員による投票)

#### 教育長

開票の結果、東京書籍「新編新しい科学」3票、教育出版「自然の探究中学理科」1票、他は0票となり、理科は、東京書籍「新編新しい科学」を採択することとする。

#### 教育長

音楽「一般」について審議及び採択を行う。

#### 選定委員

音楽「一般」の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載された

教科書2者のうち、教育出版、教育芸術社について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、教育出版と教育芸術社の2者とした。

教育出版「中学音楽 音楽のおくりもの」は、巻頭の学習MAPでは、歌唱、鑑賞、創作の年間の学習内容を関連付けて示すことで、学習内容の他の単元との関わりが分かり、見通しをもち主体的に学べるように工夫されている。「Sing! Sing!」では、歌唱のためのワンポイントアドバイスとして、基礎的な技能や創意工夫して音楽表現するための手がかりが示されている。「ACTIVE!」では曲の形式の仕組みなど、音楽を形づくっている要素や感じ取ったことを、教科書に書き込みながら学習することで、思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がされている。「音のスケッチ」などの創作活動では、テーマやことばをリズムと関連させ、旋律の創作から全体の構造へと順を追って学習を進められるように工夫されている。我が国や郷土の伝統音楽で使用されている譜面や楽器、SDGsやコンピューターと音楽の関わりなどが取り上げられ、生活や社会における音楽の意味や価値を考えられるように工夫されている。QRコードでは、解説動画を視聴することで指揮や創作などの表現を学習できるように工夫されている。

教育芸術社「中学生の音楽」は、巻頭のページでは、歌唱、創作、鑑賞の領域ごとに、育成を目指す資質・能力と年間の学習内容とを関連付けて示すことで、学習内容と資質・能力の関わりが分かり、見通しをもち主体的に学べるように工夫されている。「My Voice!」では、QA形式を用いて学習者が感じる疑問をイラストとともに掲載し、発声の特徴が示されている。「学びのコンパス」では、手立てやヒントなどが示され、聞き取ったこと、感じ取ったことを記述し、話し合い、音楽を形づくっている要素について考えることで、思考力、判断力、表現力等を育成するための工夫がされている。「My Melody」などの創作活動では、リズム要素を手がかりに音楽を主体的に捉え、音楽と豊かに関わりながら創作活動を進められるように工夫されている。日本音楽入門などで、我が国の伝統音楽を取り上げたり、生活や社会の中の音楽で、音楽とSDGs、音楽の役割などを示したりすることで、音楽文化や生活の中にある音楽の理解を深めるための工夫がされている。QRコードでは、音源や動画等の資料を視聴し活用することができる。

## 委員

2者の違いはどんなところか。また、現在使用している教科書はどこか。

## 選定委員

2者の違いについて、教育出版は、イラストや図・写真を多用して分かりやすく示し、生徒が興味関心をもって学習に取り組むことができるように工夫されているとともに、学年に応じて段階的に学習を進められるような構成になっている。また、見開きの資料が多く、生徒が見通しをもって学習に取り組めるように配慮されてい

る。

教育芸術社は、見開きのページに学習のねらいや音楽を形作っている要素などが分かりやすく示されており、何を学習するのか具体的に分かりやすく示すように工夫されている。また、発展的な内容も含まれており、生徒の実態に応じて学習の個別化が図れるように工夫されている。

学校教育部長

現在使用している教科書は、教育芸術社である。

委員

音楽を形づくっている要素について、各者どのような工夫があるか。

選定委員

音楽を形づくっている要素は、表現及び鑑賞に関する能力を育成するうえで、共通に必要な〔共通事項〕に示されたものである。

2者ともに、音楽を形づくっている要素については掲載されているが、教育出版では、主に巻頭の「学習MAP」に一覧で示されている。

教育芸術社については、巻頭の学習内容の一覧で掲載している他、教材ごとに、ポイントとなる音楽を形づくっている要素を示しており、各要素を意識しながら学習に取り組むことができるように工夫されている。

委員

タブレット端末などICTの活用はできるのか。

選定委員

2者ともタブレット端末を使って演奏を録画したり、自分で聞いたりして自分の技能の向上に役立てることができる。また2者ともQRコードを積極的に使用しており、動画や音楽などを生徒が自分の意志で気軽に視聴・閲覧することができるように工夫されている。

教育出版では、教科書に掲載されている歌唱の範唱や、指揮の振り方などを確認することができる。

教育芸術社では、歌唱の旋律の他に、伴奏のみの音源も用意されており、生徒の実態や用途に応じて、使い分けることができるように工夫されている。また、歌唱の他にも教科書に掲載されている教材の補助資料としての情報も掲載されている。

教育長

川越授業スタンダードではめあてや見通しを大切にしているが、各者どのような工夫が見られるか。

委員

2者とも多くの教材が見開きのページにまとめられており、学習の内容に見通しがもてるように工夫されている。

教育出版では、各教材のねらいを分かりやすい言葉で簡潔に示しており、生徒の

実態に応じて学習に取り組めるように工夫されている。

教育芸術社では、ねらいを示すとともに、具体的な学習内容や音楽を形づくっている要素などを明確に示すことで、生徒が見通しをもって主体的に学習に取り組めるように工夫されている。

(教育長及び教育委員による投票)

教育長

開票の結果、教育芸術社「中学生の音楽」4票、他は0票となり、音楽「一般」は、教育芸術社「中学生の音楽」を採択することとする。

教育長

音楽「器楽合奏」について審議及び採択を行う。

選定委員

音楽「器楽合奏」の教科用図書調査研究専門員会において、教科書目録に掲載された教科書2者のうち、教育出版、教育芸術社について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、教育出版と教育芸術社の2者とした。

教育出版「中学器楽音楽のおくりもの」では、技能的な段階に応じた複数の楽曲を掲載し、学習内容の定着を図る工夫がされている。各楽器の構造や奏法等について、視覚的資料を用いて必要な情報を取り上げることで、知識及び技能が習得されるように工夫されている。「表現の仕方を調べてみよう」では、楽器の響きについて共通点や相違点を聴き比べ、鑑賞の活動を通して学びを深めるように工夫されている。「Let's Play!」や「Let's Try!」では難易度を示し、生徒の実態に応じ段階的に学習できるよう楽曲が掲載され、主体的・協働的に学習に取り組めるように工夫されている。リコーダーの楽曲は、ソプラノリコーダーとアルトリコーダーの運指表を併記し、どちらでも演奏できる楽曲が掲載され、平易な練習曲から始められるように工夫されている。「音のスケッチ」では既習の楽器や楽曲を使い、創作と関連付けて学べる工夫がされている。なじみのある楽曲などを用いて、生活や社会の中の音や音楽との関わりを考えられるよう工夫されている。QRコードでは、実際の演奏の様子を視聴することができるなど、様々な資料に触れられるように工夫されている。

教育芸術社「中学生の器楽」では、巻頭のページでは、器楽の学習内容と育成を目指す資質・能力とを関連付けて示すことで、見通しをもてるように工夫されている。各楽器の奏法や構え方等を、様々な角度からの写真や文章による説明を示すことで、知識及び技能が習得されるように工夫されている。各教材に、学習目標や音楽を形づくっている要素が設定されており、具体的な学習活動が提示されている。

「学びのコンパス」では、生徒同士の対話的な学びが実践できるような手立てが示されている。リコーダーの楽曲は、ソプラノリコーダーとアルトリコーダーのどち

らでも学習できるように楽譜が掲載され、生徒の実態に応じて平易な練習曲からアンサンブルや難易度の高い楽曲まで幅広く取り組めるよう工夫されている。「My Melody」では日本の音階を用いて、創作と関連付けて学べるように工夫されている。著名な楽器奏者等の活動の様子や、なじみのある楽曲が掲載され、生活や社会の中の音や音楽について考える工夫がされている。QRコードでは、音源や資料を活用でき、個別最適な学びを支援できるように工夫されている。

## 委員

2者の特徴的な工夫点はどのようなところか。

## 選定委員

教育出版は、イラストや図・写真を多用して分かりやすく示し、生徒が興味関心をもって学習に取り組むことができるように工夫されている。また、生徒が親しみやすい曲が掲載されていたり、鑑賞としても活用できる楽曲が掲載されたりしているなど、選曲に工夫が見られる。

教育芸術社は、掲載されている楽曲が多く、生徒の習熟度に応じて選曲ができるようになっている。また、演奏するうえでのアドバイスが分かりやすく示されていたり、基本的な学習事項に加えて発展的な内容も含まれたりしており、生徒の実態に応じた学習の個別化が図れるように工夫されている。

## 委員

和楽器の扱いについて川越市の中学校ではどのようなになっているか。

## 選定委員

年間指導計画に位置づけられており、3年間の中で指導するようになっている。また、各学校での保有台数が少ないため、教育センターが保有している楽器を借出し、授業を行っているのが現状である。

## 教育長

主体的・対話的で深い学びの実現にむけた学習の扱いについてはどうか。

## 選定委員

音楽科の学習は従来から、主体的・対話的な要素を多く含んでいる。この特性を活かし、主体的で対話的な深い学びを実現するために、考える視点を具体的に提示して生徒が主体的に活動に取り組めるようにしたり、友達との協働的な学習を通して、互いに学びを深めたりすることができるようにするために、2者とも工夫を凝らしている。

教育出版のアルトリコーダーの教材では、冒頭から楽器のイラストと共に運指図が掲載されており、生徒が自分で確認しながら練習に取り組めるように工夫されていたり、題材のまとめの曲ではアンサンブルの教材が用意されたりしており、生徒同士で演奏できるような選曲がされている。

教育芸術社のアルトリコーダーの教材では、生徒が取り組みやすい楽曲から段階

的に難易度が引き上げられるような選曲になっており、随所にポイントを示すなど、生徒が主体的に取り組めるような工夫が見られる。また、音を合わせるときのコツ等も掲載し、対話的な学びについても生徒が意識できるように工夫されている。

#### 教育長

思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力を付けるために、どのような工夫が見られるか。

#### 選定委員

教育出版では、リコーダーや篠笛、尺八の代表曲を比較する内容が掲載され、発展的な内容として世界的に有名な楽器についても紹介されており、発展的な学習ができるように工夫されている。

教育芸術社では、巻頭に学習する内容を一覧で分かりやすく表示するとともに、それぞれの楽曲と資質・能力の関連性を色の濃さで示すことで、それぞれの教材での学びを通して、どのような資質・能力を身に付けるかが視覚的に捉えられるように工夫されている。

#### 委員

現在使用している教科書はどこか。

#### 選定委員

教育芸術社である。

(教育長及び教育委員による投票)

#### 教育長

開票の結果、教育芸術社「中学生の器楽」4票、他は0票となり、音楽「器楽合奏」は、教育芸術社「中学生の器楽」を採択することとする。

#### 教育長

美術について審議及び採択を行う。

#### 選定委員

美術の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載された教科書3者、開隆堂出版、光村図書出版、日本文教出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、開隆堂出版と光村図書出版の2者とした。

開隆堂出版「美術」では、各題材を通して育成を目指す資質・能力を「小見出し」や「作者のことば」によって造形的な視点で捉えられるように工夫されている。横断的に学習する基礎的・基本的な技能や材料・道具の扱いなどは、巻末の「学びの資料」にまとめられ、活用しやすいよう工夫されている。各題材には、「発想・構想」の見出しをつけた項目を設け、「～しよう」といった目標が提示され、発想を広げたり、構想を練ることができたりするよう工夫されている。また、扉のページで学習に対しての意欲を高める内容を示したり、美術を身近に感じられる作品を

掲載したりするなどの工夫がされている。さらに、美術とSDGsや社会との関わりについて語る作家の言葉を紹介するなどして学びを広げる工夫がされている。表紙に凹凸のある印刷を採用することにより、作品の質感を想像することができるよう工夫されている。デジタルコンテンツは、導入の手助けとなる3分程度の動画が用意されており、生徒の興味や関心を高められるよう工夫されている。

光村図書出版「美術」では、題材の冒頭に設けた鑑賞の問いかけや、「POINT」などの吹き出しによって、造形的な視点で捉えられるよう工夫されている。別冊「資料」に材料や用具の使い方の知識や技法をまとめ、活用しやすいように配慮されている。吹き出しが青色と橙色の2色で構成されており、青色は生徒の言葉を表し、表現の意図を深め、主題に迫れるように工夫されている。橙色は造形的な視点を意識できる質問で構成され、生徒が主体的に自らの考えを深められるように示されている。制作過程が見える「みんなの工夫」では、生徒が試行錯誤しながら制作する様子が紹介されており、知識や理論の学習に偏らないように、制作意図や内面性を大切にすることを理解し、粘り強く自分の表現を追求することができるように工夫されている。SDGsの目標の番号や道徳科の内容項目を示し、社会の中での美術の働きや人との関わりについて考えながら学べるよう工夫されている。デジタルコンテンツは、技術技法や作品の解説動画が用意されており、生徒が必要に応じて再生速度を選択できるなどの工夫がされている。

## 委員

生徒が興味をもって主体的に取り組める工夫はされているか。

## 選定委員

3者とも工夫が見られる。

開隆堂出版は、デジタルコンテンツの「はじめに」では導入の手助けとなる動画を視聴することで、題材の活動内容を確認するとともに活動への意欲を高めることができるよう工夫されている。また、題材を基本4ページでの構成にしており、作品を大きく掲載し、作品への興味・関心を高められるように工夫されている。

光村図書は、「みんなの工夫」で生徒が試行錯誤しながら制作に取り組む様子を紹介し、活動への意欲を高めるとともに粘り強く自分の表現に取り組む態度が育まれるように工夫されている。生徒作品は作者の言葉とともに約900点掲載されている。また、本物に近い色を再現して印刷した大判の図版が掲載され、作品への興味・関心を高められるように工夫されている。

日本文教出版は、実際の活動の様子が分かる写真を掲載し、自分ならばこうしてみたいという生徒の意欲を引き出すように工夫されている。また、活動の様子がわかる写真が掲載されており、活動の意欲を引き出すとともに活動のヒントにもなり、主体的に学習に取り組めるような工夫もされている。

## 委員

日本の伝統文化についてはどのように取り上げているか。

#### 選定委員

3者ともに、日本の伝統文化や伝統的な工芸品を掲載している。

開隆堂出版は、伝統的な美術文化のよさや美しさを感じ取ることができるような図版とともに、伝統文化を学び伝えることの大切さを考えられるよう工夫されている。

光村図書は、文化財を見開きで掲載したり、47都道府県の伝統工芸を紹介したりして、日本の伝統文化への理解が深まるよう工夫されている。

日本文教出版は、伝統工芸や伝統文化に関わる作品が取り上げられている。アイヌや沖縄文化等も取り上げられ、日本の伝統文化の多様性を理解できるよう工夫されている。

#### 委員

鑑賞の内容はどのようにになっているか。

#### 選定委員

3者ともに表現と鑑賞を一体的に学習できるように表現題材の中に鑑賞する活動を設定している。

開隆堂出版は、作家作品を中心に、作品のもつ造形的なよさや美しさなどを味わい、美術や美術文化について、見方や感じ方を広げたり深めたりする活動を設定している。鑑賞で扱われている題材については、折り込みを生かした紙面構成にし、鑑賞のポイントを示す問いかけを掲載し、生徒が興味・関心をもって鑑賞に取り組めるよう工夫されている。

光村図書は、体感的に鑑賞をすることで様々な視点から鑑賞を深める「体感ミュージアム」や「360度写真」などのQRコンテンツが掲載されている。また、日本美術をじっくり鑑賞するページが設けられ、より本物に近い感覚で鑑賞できるよう、質感のある用紙を使用している。

日本文教出版では、折って鑑賞することで見え方が変わる屏風、巧みな彫りや摺りが味わえる高精細印刷の浮世絵、細かな描写が実感できる、原寸大図版等が掲載され、生徒が実感を伴って理解できるよう工夫されている。また、各題材において、鑑賞の入口に示された問いかけを基に紙面の作品を鑑賞することから授業が始まる構成になっている。

#### 教育長

小学校の図画工作科との接続はどのようにになっているか。

#### 選定委員

3者ともに、小学校の図画工作科との接続への配慮がなされている。

開隆堂出版では、図画工作から美術へのページを設定し、図画工作で学んだことが、どのように美術の学習につながっていくのかを考えられるよう工夫されている。

光村図書では、美術の扉を開こうのページを設定し、生徒が3年間の学びを見通し、美術の学習に期待感がもてるよう工夫されている。

日本文教出版では、ようこそ美術の学びへのページを設定し、図画工作での学びが美術の学習で活用できることに気付くよう工夫されている。

#### 教育長

表現教科である美術では、自分の思いをもって表現することが大切だと思うが、生徒の発想や構想をどのように支援しようとしているか。

#### 選定委員

3者ともに工夫が見られる。

開隆堂出版は、「発想・構想」という小見出しを設け、アイデアスケッチや生徒の活動写真、生徒作品や作者のことばなどを通して、作品への関心・意欲を高めるとともに、発想や構想の手がかりとなるように工夫されている。

光村図書は、全ての表現題材に、作品の発想を広げ、構想を練るための具体的な手立てが掲載されている。また、「みんなの工夫」では中学生の制作過程が示され、QRコンテンツで制作した生徒本人のインタビュー動画を見ることもでき、発想や構想の手がかりとなるよう工夫されている。

日本文教出版は、すべての表現題材に、発想・構想の手がかりとなる表現のヒントが掲載されている。また、アーティストの制作過程も紹介されており、生徒が授業で活用できるよう工夫されている。

(教育長及び教育委員による投票)

#### 教育長

開票の結果、光村図書出版「美術」4票、他は0票となり、美術は、光村図書出版「美術」を採択することとする。

#### 教育長

保健体育について審議及び採択を行う。

#### 選定委員

保健体育の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載された教科書4者、東京書籍、大日本図書、大修館書店、Gakkenについて、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、東京書籍と大修館書店の2者とした。

東京書籍「新編新しい保健体育」では、1時間の学習の流れが、見つける、学習課題、課題の解決、広げるの4ステップで構成されており、写真や表などが効果的に使用されることで、見通しをもって学習を進めることができるよう工夫されている。各単元にそれぞれのステップに応じた発問が設けられており、課題の合理的な解決に向けて、思考し判断するとともに表現することができるように工夫されている。また、活用するでは、習得した知識・技能を活用して、他者に説明したり、話

し合ったりすることで、思考を深める活動ができるように工夫されている。生活につながる資料が掲載されており、自分たちの生活とのつながりを考えて、SDGsやテクノロジーなどについて学べるよう工夫されている。また、巻末スキルブックでは、命や健康を守るためのスキルが身に付けられるように工夫されている。デジタルコンテンツでは、動画やシミュレーション、思考ツールなどが用意され、学習を広げるための工夫がされている。

大修館書店「最新中学校保健体育」では、学習の流れが、つかむ、身につける・考える、まとめる・振り返るの3ステップで構成されており、課題をつかむから学習のまとめの構成の中に、写真や図が効果的に掲載されていることで、見通しをもって学習を進めることができるように工夫されている。多様な導入課題が設定されており、学習課題につながる気付きや思考を促すことができるよう工夫されている。また、まとめるでは、様々な表現活動を提示し、多様な考え方を理解したり、集団としての考えを形成したりすることができるよう工夫されている。今日的な課題をコラムや特集資料として取り上げ、社会の急速な変化に対応するための資質や能力を養えるよう工夫されている。また、健康・安全について科学的に理解できるように工夫されている。デジタルコンテンツとして、学習内容にあった教材や資料が用意されており、動画やイラスト、解説などを閲覧できるように工夫されている。

#### 委員

デジタルコンテンツの活用について、推薦の2者はどのようになっているのか。

#### 選定委員

東京書籍では、Dマークコンテンツとして、動画、シミュレーション、思考ツール、資料・図鑑、章末問題、ワークシート、他教科リンク、Webリンクが用意されている。QRコードの数は87個であり、デジタルコンテンツの一覧から選択できるようにもなっている。

大修館書店では、デジタル教材として、動画コンテンツ、Web保体情報館、Webワークシート、保体クイズにトライ！が用意されている。QRコードの数は131個となっている。

#### 委員

川越市が進めている、防災教育について、どのような扱い方をしているか。

#### 選定委員

各者ともに、自然災害による傷害の防止として、取り上げている。

東京書籍では、活用するにおいて、災害時に安全に避難できるよう、家族構成や自宅周辺の状況を考えながら、防災タイムラインを作成する活動が用意されたり、防災の自助・共助・公助の考えについても触れたりしている。また、Dマークコンテンツとして、防災シミュレーションをして、映像で確認しながら災害時の想定ができるように工夫されている。

## 委員

川越市が進めている、救命教育について、どのような扱い方をしているか。

### 選定委員

各者ともに、応急手当の意義と実際として、心肺蘇生法が知識及び技能を身に付けるために取り上げられている。実習をする際には、胸骨圧迫の仕方やAEDの使い方、気道の確保、人工呼吸について写真やイラスト付きの説明と、実際のやり方を動画で見ることができるよう工夫されている。

東京書籍では、巻末スキルブックにて、実習のふりかえりや心肺蘇生法の手順とポイントが確認できるように工夫されている。

大修館書店及びGakkenでは、ASUKAモデルについても記載されている。

### 教育長

川越市が進めている、がん教育及び性に関する指導について、推薦の2者では、どのように扱っているか。

### 選定委員

がん教育について、東京書籍では、がんの発生の仕組みについて映像で学ぶことができるように工夫がされている。

大修館書店では、乳がんの早期検診を促す、ピンクリボン運動や各自治体のがん検診啓発運動について、取り上げられている。

性に関する指導について、東京書籍では、生殖機能の成熟や受精と妊娠、人の始まるの映像資料も用意され、知識の理解を助ける工夫がされている。

(教育長及び教育委員による投票)

### 教育長

開票の結果、東京書籍「新編新しい保健体育」4票、他は0票となり、保健体育は、東京書籍「新編新しい保健体育」を採択することとする。

### 教育長

技術・家庭「技術分野」について審議及び採択を行う。

### 選定委員

技術・家庭「技術分野」の教科用図書調査研究専門員会において、教科書目録に掲載された教科書3者、東京書籍、教育図書、開隆堂出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、東京書籍と開隆堂出版の2者とした。

東京書籍「新編新しい技術・家庭技術分野未来を創るTechnology」では、問題を解決するために身に付けるべき技能は、副題材の実践例や「TECH Lab」にまとめられており、問題に応じて習得した技能を適切に選択できるように工夫されている。また、ページの下部に配置された「技術の工夫」により、知識の定着を図れるように工夫されている。各内容とも第1章で基本的な知識の習得を

行い、その後、技術の問題解決の工夫、問題の発見と課題の設定を行う学習内容で構成されており、問題解決の評価、改善・修正を取り上げることにより、自分たちの学習過程を振り返らせるように工夫されている。また、「統合的な問題解決」では、技術イノベーションにつながる問題解決となるように工夫されている。「技術の匠」や「すごいぞ！技術」では、社会で活躍している技術に携わる人や、先進的な分野の紹介について掲載されており、生徒の勤労観や職業観を育むことができるよう工夫されている。また、学習に関心をもち、学習効果を高めるための技能に関する動画やコンテンツ等にリンクするQRコードが用意され、理解を深めるための工夫がみられる。

開隆堂出版「技術・家庭技術分野テクノロジーに希望をのせて」では、簡潔な説明と写真や図でまとめられ、適宜実験や調べ学習を取り上げることで、科学的な根拠を伴い技術を理解できるよう工夫されている。また、ページの下部に記載された「豆知識」により、知識の定着を図れるように工夫されている。各内容ともはじめに基本的な知識の学習を行い、その後、問題解決の手順、技術による問題解決について学習するよう構成されており、問題解決を行う中で技術の見方・考え方を働かせることができるように工夫されている。また、「技術分野の出口」では、社会の問題に技術で対応するために、様々な技術を組み合わせた考え方を深められるよう工夫されている。技術に携わる人が「Interview」として紹介され、仕事内容や仕事に就いたきっかけが掲載され、生徒の勤労観・職業観を育むことができるよう工夫されている。また、各ページのQRコードからコンテンツにアクセスすることにより、学習課題に関連する課題を理解するためのヒントや解決する学習課題コンテンツや動画コンテンツ等が用意されている。

## 委員

情報社会を生きる中で、情報を適切かつ誠実に利用するための情報モラルについて、どのように扱われているか。

## 選定委員

東京書籍では、道徳との連携を図りながら、セキュリティ対策ソフトウェアなどの情報セキュリティ技術やインターネットなどの情報技術のプラス面、マイナス面を考えられるように工夫されている。そして、事例を挙げながらイラストを用いて分かりやすく伝わるように工夫されており、他者よりも多い6ページの扱いとなっている。また、学習活動に応じて、情報モラルマークを付して注意を促すようになっている。

開隆堂では、スマートフォンについて、基本的なルールやマナーをガイダンスでおさえられるように配慮されている。また、情報の技術の学習内容で、知的財産については、具体的な事例を示しながら複数のページを割いて、著作物や知的財産について、より詳しく扱うことができるように工夫されている。

## 委員

よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うために、どのような工夫がされているか。

### 選定委員

東京書籍では、問題解決例がイラストを用いて表現されており、評価、改善・修正の仕方などが分かりやすく伝わるよう工夫されている。また、問題解決例を複数例示し、生徒や学校の実態に応じて選択することで、より身近に技術について考えることができ、生徒が主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。また、ガイダンスでは、技術の工夫や歴史を取り上げたり、「技術のめがね」、「最適化の窓」によって技術を工夫し創造しようとする態度を養えるように工夫されている。

開隆堂では、各小項目の冒頭にある学習課題から、自ら進んで学習内容の重点を考えられるよう工夫されており、最後には「CHECK」で学びの振り返りができるように工夫されている。また、各編の終わりに「技術と私たちの未来」を設けて、学習したことを未来へどのようにつなげていけばよいかを考えるように工夫されている。

## 委員

プログラミングについて、どのように扱われているか。

### 選定委員

東京書籍では、ネットワークを利用した双方向性のあるコンテンツのプログラミングや計測・制御のプログラミングについて、社会で活用されている技術をなぞらえた題材で取り上げている。また、「プログラミング手帳」を設けて、生徒が自分で簡単にプログラミングができるような構成となっている。

開隆堂では、プログラミングに対する本質的な理解を図るための基礎・基本のページと問題解決のページに分かれており、様々な実習例が紹介されている。その実習例は、Scratchなどのブロック型言語を中心に構成されており、問題解決を行いやすいように配慮されている。

## 教育長

川越市の授業スタンダードでも重要視されている、まとめと振り返りを充実させるために、どのような工夫が見られるか。

### 選定委員

東京書籍では、学習単元の最初に、目標が示され、終わりに、まとめよう、振り返ろうが設けられ、まとめや振り返りが確認できるように工夫されている。

開隆堂では、学習単元の最初に、学習の目標が示され、終わりに「CHECK」が設けられ、学習に対する理解度を確認することができるように工夫されている。

(教育長及び教育委員による投票)

## 教育長

開票の結果、東京書籍「新編新しい技術・家庭技術分野未来を創る Technology」4票、他は0票となり、技術・家庭「技術分野」は、東京書籍「新編新しい技術・家庭技術分野未来を創る Technology」を採択することとする。

## 教育長

技術・家庭「家庭分野」について審議及び採択を行う。

## 選定委員

技術・家庭「家庭分野」の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載された教科書3者、東京書籍、教育図書、開隆堂出版について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、東京書籍と開隆堂出版の2者とした。

東京書籍「新編新しい技術・家庭 家庭分野自立と共生を目指して」では、学びの系統性が分かるように、小学校で学んだことが示してあり、各編の導入において、課題設定が記入できるようになっている。「いつも確かめよう」で基礎的な技能がまとめて掲載され、各編の最後に、学習のまとめが設定され、学習の振り返りができる構成になっており、基礎的・基本的な知識・技能が習得できるように工夫されている。自分の生活を振り返ったり、自分の考えを深めたりする場面が設けられており、生活に生かそうとする態度を育成できるように工夫されている。多様な実習例を写真や図を使用して取り上げ、アレンジ方法を提示することで、技能レベルや製作時間に応じて選択し実践できるように工夫されている。また、持続可能な社会について、実践的・体験的な活動を通して学習内容を生活に生かそうとする態度を育成できるように工夫されている。実物大写真や多様なデジタルコンテンツ、コンピューターを用いたワークシートや思考ツール等、学習効果を高めるための工夫がされている。

開隆堂出版「技術・家庭 家庭分野自立しともに支え合う生活へ」では、問題発見、課題設定、計画、実践、評価・改善という学習の流れで構成され、興味や関心、疑問から課題解決に向かう力を身に付けるように工夫されている。調理の基礎や

「製作の基礎・基本」で基礎的な技能をまとめて示し、内容のまとまりごとに、学習のまとめが設定され、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるように工夫されている。ロールプレイングや触れ合い体験、インタビューや地域等の取組の紹介など、人との関わりについて考えることができるよう工夫されている。また、家庭分野に関係する仕事や取組を行っている人物を「先輩からのエール」で取り上げ、興味・関心を高め、社会や家庭生活とのつながりを感じられるよう工夫されている。多様な活動例や実践例が写真や図を使用して掲載されており、個に応じて選択し、実践できるように工夫されている。実物大写真や多様なデジタルコンテンツが参照でき、学習効果を高めるための工夫がされている。

## 委員

安全教育について、推薦の2者の教科書での扱われ方はどのようになっているか。

### 選定委員

東京書籍では、「実習を楽しく安全に進めよう」という学習ページで、実習前、実習中、実習後における注意点について学習できるよう工夫がされている。

開隆堂では、調理実習・製作実習等における安全の基本的事項について学習できるよう工夫がされている。

## 委員

消費生活・環境について、推薦の2者の教科書での扱われ方はどのようになっているか。

### 選定委員

東京書籍では、生活者として自立するために大切な意思決定のプロセスを明確にしている。また、消費者の権利と責任について、1ページにまとめて収まっている。

開隆堂では、中学生自身が自分ごととして考えられるように、具体的な課題や事例が示されている。また、消費者の権利と責任について、事例とともに見開き1ページで示されている。

## 委員

食物アレルギーの扱いはどのようになっているか。

### 選定委員

東京書籍では、食物アレルギーに関する資料があり、自分の生命や体を守る大切さについて理解が深められるよう工夫がされている。

教育図書では、特定原材料には赤線が引いてあり、代替食品の例を示し、理解が深められるよう工夫がされている。

開隆堂では、食物アレルギーを含む食材についての情報を調理実習例に掲載し、理解が深められるよう工夫がされている。

## 教育長

生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を習得させるために、推薦の2者について、どのような工夫がされているか。

### 選定委員

東京書籍では、「いつも確かめよう」で基礎的な技能がまとめて掲載され、基礎的な知識・技能が定着できるように工夫がされている。

開隆堂では、各内容には、学習の目標が目立つように示されており、学習の見通しを持ちながら基礎的・基本的な知識・技能を習得できるように工夫がされている。

## 教育長

第1学年の最初のガイダンス的な内容について、推薦の2者の教科書での扱われ方はどのようになっているか。

## 選定委員

東京書籍では、小学校での学習内容を取り上げ、振り返りができるように工夫がされている。

開隆堂では、小学校の学習と同じ点を示すとともに、中学校で新たに学ぶ点についても触れている。

## 教育長

男女共同参画の扱いは推薦の2者では、どのようになっているのか。

## 選定委員

東京書籍では、男女がともに子育てに関わっている姿を写真やイラストで示し、性別による役割固定にならないように配慮されている。

開隆堂では、すべての人が平等であることを前提にした写真や図を掲載し、男女の区別がないよう配慮されている。

(教育長及び教育委員による投票)

## 教育長

開票の結果、東京書籍「新編新しい技術・家庭 家庭分野自立と共生を目指して」1票、開隆堂出版「技術・家庭 家庭分野自立とともに支え合う生活へ」3票、他は0票となり、技術・家庭「家庭分野」は、開隆堂出版「技術・家庭 家庭分野自立とともに支え合う生活へ」を採択することとする。

## 教育長

英語について審議及び採択を行う。

## 選定委員

英語の教科用図書調査研究専門員会において、教科書目録に掲載された教科書6者、東京書籍、開隆堂出版、三省堂、教育出版、光村図書出版、新興出版社啓林館について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、開隆堂と光村図書出版の2者とした。

開隆堂出版「Sunshine English Course」では、各単元は「とびら」「Scenes」「Tuning in」「Part」「Review and Retell」「Action」で構成されており、マンガ形式で提示された新出表現を、単元を通して繰り返し学習し、「Our Project」につなげるように構成されている。「Our Project」では、「Program」の既習事項を活用し、4技能を統合した活動を通し、思考力、判断力、表現力等を高めるように構成されている。「Our Project」は協働学習を軸としており、対話を通して課題解決に向かう活動が設定されている。生徒は「とびら」で目標を確認し、「Scenes」で新出表現を理解し、「Turning in」で題材について考えた後、自己表現活動へとつなげるために学習を積み重ねていくよう工夫されている。単元ごとにQRコードが掲載され、本文に関わる音声

や動画をスマートフォンなどで再生できるように工夫されている。全ての学年でアクセントは各単語に付記し、発音記号は巻末に掲載している。学習者用デジタル教科書では、文字や背景色の変更やルビ表示などの機能があり、生徒の多様なニーズに対応し学習できるように工夫されている。

光村図書出版「Here We Go! ENGLISH COURSE」では、各単元は「扉」「Part」「Goal」で構成されており、スパイラルに学習しながら「You Can Do It!」での統合的な活動につなげる構成となっている。本文は3年間ひと続きのストーリーとなっており、ラウンドシステムの授業にも対応できるように工夫されている。「Daily Life」では、実社会の言語使用場面で役立つ力を身に付けられる領域統合型の活動や、自分の言葉で表現する力や即興力を継続的に養えるように「Let's Talk!」や「Story Retelling」が設定されている。また、豊富なインプットから少しずつアウトプットに進めるよう、目的や場面、状況に応じて英語を繰り返し使いながら学べる構成となっており、各単元では、本文に加え「Part」や「Goal」にも聞く活動が設定されている。単元ごとにQRコードが掲載されており、アニメーションや実写映像などをスマートフォンなどで再生ができるように工夫されている。学習者用デジタル教科書では、教科書のストーリーの実写ドラマが用意され、活動の内容に関連したスピーキングテストに取り組めるように工夫されている。

## 委員

本市の実態を踏まえ、外国語科の教科書を選定するうえで重要な視点は何だと考えられるか。また、本市の英語の授業の実態を踏まえ、課題を克服するという視点において、推薦の2者について、どのような工夫があるか。

## 選定委員

本市の実態を踏まえ、外国語科の教科書を選定するうえで重要な視点について、次の4点であると考えられる。

1点目は、言語習得の順序性を重視している点、特に、聞くことの領域である。聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの順で、インプットからアウトプットに向けて、段階的に、無理なく学習を進めることができることが大切である。

2点目は、生徒にとって、学習の見通しが立てやすく、指導者側も指導の手順がぶれない教科書であることである。具体的には、生徒にとって親しみやすい題材であること、目的や場面、状況等が理解しやすいことなどが挙げられる。

3点目は、初任者からベテラン教師まで一定程度の水準で授業が展開できる、無理のない構成であることである。また、必要に応じて校内で協働できることである。教科書の構成に一貫性があること、ワークシートなどの教材を共有したり指導法について研究できたりすることなどが大切である。

4点目は、授業を実際のコミュニケーションの場面とするという観点から、教科

書の題材が、生徒がコミュニケーションの目的や場面、状況等を理解するうえで最適なストーリーとなっていることである。また、単元間のストーリーのつながりがあることである。

本市の英語の授業の実態を踏まえ、課題を克服するという視点からの工夫について、開隆堂では、Small Talk表現集を活用し、帯活動として既習事項の定着、即興で話す力の伸長を図ることができる。「Action」では、本文に関連したテーマで話す活動が設けられている。原稿を読み上げるのではなく、メモを基に話す力がつく構成となっている。「Program」では、各領域の言語活動をバランスよく配置している。7名の人物を中心としたストーリーとなっており、「Program」内において、各場面で登場する人物は一貫している。題材導入のためのデジタルコンテンツを充実させ、教員の授業準備の負担を軽減できるようにしている。

光村図書では、帯教材Let's Talk!において、「This is Me」「My Life, My Future」「My Opinion」というテーマで1問1答から2文以上で答えるといった活動を継続的に行うことで、即興的なやり取りの力を育成できるよう工夫されている。帯教材の「Story Retelling」では、イラストと簡単な語句をヒントに、既習のUnitのストーリーの内容を自分の言葉で話すことで、即興で話す力を養うことができるよう工夫されている。3年間ひと続きのストーリーとなっており、題材を通して生徒の考えを深められるようになっており、教師用には、授業の概要や年間指導計画例、指導案などを収録したラウンドシステム・ガイドブック、生徒用にはワークシート集などが付属しており、ラウンドシステム方式での授業を行うことで、初任者からベテラン教師まで一定程度の水準で授業が展開できる、無理のない構成となっていると考えられる。

## 委員

聞くこと、読むこと、やりとりなどの話すこと、発表などの話すこと、書くことなどのコミュニケーションを図る資質・能力を育成するために推薦の2者について、どのような工夫が見られるか。

## 選定委員

開隆堂については、目的や場面、状況を踏まえた言語活動ができるよう工夫されている。「Review & Retell」において生徒が相手意識や目的意識をもって表現したり、「Action」「Our Project」などで、学習した内容を活用して英語で表現する力を高めるための工夫がされている。生徒は「とびら」で目標を確認して、「Scenes」で新出表現を理解し、「Turning in」で題材について考えた後、自己表現活動へとつながるよう学習を積み重ねていく。「Step」では、自己表現を充実させるための技能を学習できる

よう工夫されている。言語活動において必要な語彙が「E x p r e s s i o n B o x」や「W o r d B o x」などに取り上げられており、新出語句を扱う「N e w o r d s」では発信語彙が太字で示されている。

光村図書については、豊富なインプットから少しずつアウトプットに進めるよう、目的や場面、状況に応じて英語を繰り返し使いながら学べるよう構成されている。特に、英語を聞くことを重視し、各単元では、本文に加え「P a r t」や「G o a l」にも豊富な聞く活動が設定されている。即興的なやり取りを行う力が身に付くよう、各単元において題材と自分をつなげて話す活動や、帯活動で活用できる「L e t ' s T a l k !」などが設けられている。また、「Y o u C a n D o I t !」では、理解したことを自己表現につなげる言語活動が工夫されている。言語活動において必要な語彙が「K e y P h r a s e s」や「K e y W o r d s」などに取り上げられており、新出語句を扱う「W o r d s」では発信語彙が太字で示されている。

## 委 員

本市生徒の英語力の課題はどのようなものがあるか。また、授業を英語で行うために、どのような工夫があるか。

## 選定委員

本市生徒の英語力の課題について、全国学力・学習状況調査では、聞くこと、話すこと、読むこと、書くことの4技能が測定された。そのうち、話すこと、読むこと、書くことの3技能について、県及び全国の平均を下回った。聞くことについても、全国の平均は若干上回ったが、県の平均は下回った。また、埼玉県学力・学習状況調査では、調査のあった2、3年生ともに、聞くことの技能について県の平均を下回った。全国と県では、調査における出題形式等が異なっているため単純比較はできないが、各領域について、ペーパーテストで測れる生徒の英語力、特に基礎的な知識・技能についても、パフォーマンステストで測れる生徒の英語力、特に、話すことの領域の力についても、一定の課題が見られる。

授業を英語で行うための工夫について、開隆堂では、1年生のP r o g r a m 4以降、本文の下に内容把握のための英語の問いが設けられているので、英問英答の活動ができる。教室での英語でのやり取りが促され、生徒が自発的に発話できる機会が増えるよう配慮されている。

光村図書では、第2言語習得の理論に沿った学習の流れとなっており、教材の構成は、聞くまたは、読むから始まり、話すあるいは書くの表現活動に展開する。朱書きには、教師の指示文の英訳や、「S m a l l T a l k」の発話例などが掲載されている。帯教材「S t o r y R e t e l l i n g」では、既習のストーリーに繰り返し触れるよう工夫されている。2、3年生の冒頭に「P l a y B a c k t h e S t o r y」を設け、音声を通して全学年のストーリーに繰り返し触れら

れるようにしている。ラウンドシステムワークブックがついており、豊富なインプットを経て英語の発信力向上を図れるように工夫されている。

教育長

ラウンドシステムでの英語の学習はどのように行われるか。

選定委員

ラウンドシステムは5つのステップにより教科書の題材を繰り返し学習する英語の指導方法である。ラウンド1では、単元のストーリーを10回程度聞き、リスニングによる内容の理解を行う。ラウンド2では、音声で、ある程度理解したストーリーの内容を単語や文といった文字と一致させるリスニング活動を行う。ラウンド3では、音読活動を行い、ラウンド4では、音読練習がアウトプットへとつながる橋渡しとなるように穴あき音読を行う。ここまで計40回以上聞いたり、発話したりを繰り返すこととなる。生徒は十分なインプット活動を行い、最後にラウンド5でアウトプットする活動につなげていく。アウトプットする活動はリテリング活動で、単元のストーリーを自分の言葉で伝える活動になる。教科書の内容を様々な領域にフォーカスして繰り返し行うことで、言語の領域別の習得順序に合致した学習にすることができる。

教育長

光村図書の教科書では、どのような構成がラウンドシステムに対応していると言えるのか。

選定委員

教科書にストーリー性がある点である。ユニットの本文は、4人の登場人物を中心とした3年間ひと続きのストーリーとなっている。生徒にとっては、教科書にストーリー性があることで、英語を使う目的や場面、状況が理解しやすい、主体的に何度も読むことで、記憶に残りやすい、話題を自分事として捉えるため発信の活動につなげやすいなどの点が、ラウンドシステムを活用した英語の学習においても効果的と考えられる。ラウンドシステム方式の授業では、扱う視点を変えながら教科書を年間で4、5回使用する。例えば、ラウンド1では、すべてのユニットにおいて、リスニングによる内容理解を音声のみで行うが、教科書にストーリー性があるからこそ、生徒のインプット活動が促進される。ラウンド5において、またラウンド4において、生徒が自分の言葉でストーリーを伝えるリテリング活動においても、教科書にストーリー性があることで、生徒が教科書の前後のユニットの内容を踏まえて、場面に応じて英語を使用することができる。

教育長

光村図書以外の教科書でラウンドシステムに対応している教科書はあるか。

選定委員

東京書籍、啓林館である。

## 教育長

光村図書の教科書について、巻末の長文「Let's read more」があるが、ラウンドシステムにおいて、どのように扱うのか。

## 選定委員

「Let's read more」は各学年の巻末に付録の読み物教材として収録されている。多様な文化や価値観に触れることで生徒が考えを深められるよう構成されており、学習段階に応じて活用することができる。また、まとまった分量の文章を目的に応じて、読む力を身に付けることができるよう、各学年に2から3箇所、単元の間「Let's read」が設けられている。生徒が既習事項を活用したり、読む目的を考えたりしながら、主体的に読むことができるよう工夫されている。

(教育長及び教育委員による投票)

## 教育長

開票の結果、光村図書出版「Here We Go! ENGLISH COURSE」4票、他は0票となり、英語は、光村図書出版「Here We Go! ENGLISH COURSE」を採択することとする。

## 教育長

道徳について審議及び採択を行う。

## 選定委員

道徳の教科用図書調査研究専門委員会において、教科書目録に掲載された教科書7者、東京書籍、教育出版、光村図書出版、日本文教出版、Gakken、あかつき教育図書、日本教科書について、調査研究を行った。それらの調査研究結果を選定委員会において協議・検討した結果、推薦すべき教科書を、教育出版とあかつき教育図書の2者とした。

教育出版「中学道徳とびだそう未来へ」では、教材の冒頭に、導入の問いが設けられ、その時間に学習する道徳的価値や学習テーマを共有することで、見通しをもって学習できるように工夫されている。また、教材末尾の「学びの道しるべ」の3つの問いで、ねらいとする道徳的価値について段階的に考えることができ、これからの生き方について考えを深められるように工夫されている。異なる立場からの考えを取り上げた教材や、登場人物が判断を迫られる内容を扱った教材が扱われ、問題解決的な学習に取り組むことのできるように工夫されている。また、「やってみよう」でのロールプレイを通して、生徒が日常の体験と結びつけて学習できるように工夫されている。いじめ問題、生命の尊さ、情報モラル、持続可能な社会など現代的な課題をはじめ、防災など、多様な教材を取り上げ、様々な視点から問題の本質について考えを深めていくことができるように工夫されている。QRコードからアクセスできる「まなびリンク」が用意され、教材に関する補足資料や映像資料を

見ることができるように工夫されている。

あかつき教育図書「中学生の道徳」では、授業の流れを意識した発問が設定されており、ねらいに向かって生徒1人1人がテーマを掘り下げ、自分自身や道徳的価値について問い直すことができるように工夫されている。各学年の教材では、発達の段階に合わせて資料が配置され、生徒の思考が深まるよう工夫されており、1時間の授業の中でも、学びを広げて思考が深まるよう、教材の構成や発問が工夫されている。「マイプラス」のページでは、生徒がいろいろな立場で考えたり、役割演技をしたりするなどの多様な学習活動が設定されており、問題解決的な学習や体験的な学習ができるよう工夫されている。生命尊重といじめ防止を最重要課題と位置付け、学年ごとに複数の教材を設定している。また、いじめや差別を許さない心を育む教材、多様性を尊重する教材、情報モラルなど、様々な教材が設定され、様々な視点から学びを深められるように工夫されている。QRコードが付いている教材では、教材の補足資料などをウェブサイトで見ることができるよう工夫されている。

#### 委員

推薦の2者について、いじめの未然防止の関係で、取扱いに特徴はあるか。また、生命の尊さについての教材はどれくらい取り上げられているか。

#### 選定委員

いじめの未然防止について、教育出版は、全学年に「いじめをなくそう」ユニットを設定し、いじめや差別について多種多様な教材から考えていくことができる。いじめの加害者・被害者だけではなく傍観者や観衆にも目を向け、全ての生徒がいじめをなくすためにどうすればよいかを考えられるようにしている。

あかつき教育図書は、各学年、5、6月に重点的に学習ができるよう、大切な心を育む教材としてユニット化している。

生命の尊さについて、教育出版は、全学年に「いのちをかがやかせる」ユニットを設定し、自他の生命を尊重し、自分らしく生きていくことについて、多様な教材から重層的に考え、深めていくことができるように工夫されている。

あかつき教育図書は、生命の尊さといじめ防止は最重要課題であるため、特に関わりの深い内容項目の配当時間を考慮されている。

#### 委員

中学生にとっての現代的課題とは何か。

#### 選定委員

現代的な課題には、いじめ防止、SNS、ブログやネットの情報モラル、防災・安全、環境保全、食育、日本の郷土・文化、持続可能な社会、キャリア教育等がある。

#### 委員

若手教員も多いが、誰もが教えやすいという点ではどうか。

## 選定委員

2者とも、教師の活動、あるいは考え議論する道徳を実現するための活動などにおいて様々な工夫がみられる。

## 教育長

推薦の2者が掲載している教材について、特徴や特色はあるか。

## 選定委員

教育出版は、各学年とも教材総数は35である。3学年の題材のべ数が49であり、そのうち内容項目の社会参画については31パーセントと各者と比較した際に多かった。主体的に社会の形成に参画する態度を養うことができるように、集団や社会とのさまざまな関わり方について考えられる教材を掲載している。

あかつき教育図書は、1学年の教材総数は45、2学年の教材総数は44、3学年の教材総数は45である。1、2学年の題材のべ数が54、3学年の題材のべ数が57であり、そのうち題材として、スポーツを扱っている割合が7パーセントから9パーセントと各者と比較した際に多かった。内容項目としてはAの自主、自律、自由と責任、向上心、個性の伸長、希望と勇気、克己と強い意志、Bの友情、信頼、Cの公正、公平、社会正義、よりよい学校生活、集団生活の充実、我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度に位置付けられている。

## 教育長

ノートが示されている教科書もあるが、どのようなメリットがあるか。

## 選定委員

別冊ノートのメリットとしては、生徒が自ら考え議論し、新しく発見した道徳的価値や他者から学んだことを書き留めることで、協働的な学びに資することができるよう工夫されている。

## 教育長

現在使用している東京書籍と比べてどのような変更があったか。

## 選定委員

今使用しているものと、新版を見比べたところ、全ての教材が見直されており、朗読時間が減らされていた。また、より中学生が親しみやすい人物が取り上げられている。紙の心情円とデジタル心情円があり、授業の流れで使いやすい方を選択できるようになっている。

## 委員

現代的な課題などの題材を教材として取り上げるうえで、推薦の2者はどのような工夫がされているか。

## 選定委員

教育出版は、「いじめをなくそう」でいじめ等の人権課題を、「つながり合って生きる」で持続可能な社会を、「いのちをかがやかせる」で生命の尊さをテーマと

し、複数の教材とコラムを組み合わせたユニットを設定して、現代的な課題について重層的に深められるように工夫されている。

あかつき教育図書は、学年を通して、いじめ問題をはじめとした現代的課題を重点的に学習できるようにユニット化している。

(教育長及び教育委員による投票)

教育長

開票の結果、教育出版「中学道徳とびだそう未来へ」4票、他は0票となり、道徳は、教育出版「中学道徳とびだそう未来へ」を採択することとする。

## 10 その他

- 1 議案第17号の関係者として、中学校用教科用図書選定委員会委員である川越第一中学校校長、芳野中学校校長、高階中学校校長、大東中学校校長、川越西中学校校長の出席について各委員が承認し出席が認められた。
- 2 会議録署名委員として、飯島委員、岡本委員が指名された。
- 3 会議について9名の傍聴があった。